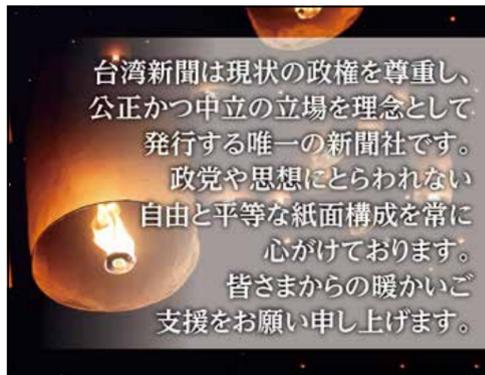


台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2019年3月4日号 東京発行 NO.263

発行元: 株式会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0047 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

同性婚特別法案が閣議決定 立法院可決で5月24日施行へ



同性婚特別法案の記者会(写真提供:自由時報)

台湾の行政院は2月21日、満18歳以上の同性カップルの婚姻成立を認める特別法案を閣議で決定した。このあと立法院で可決されれば5月24日より施行される。同性婚の特別法制定はアジア初になるものとみられ、

注目されている。なお、行政院の報道官によると、特別法は婚姻の自由と法的保護の平等を前提にしたという。

政府はこれまで、保守派への配慮から「結婚と同等の権利を保障する」としていたが、蔡



同性婚特別法案は5月24日から施行される(写真提供:自由時報)

台湾では2017年5月、同性婚を認めない現行法を「違憲」とする判断を司法院大法官会議が下し、2年以内の法改正を政府に要請していた。さらに、民法改正で結婚の前提を「一男一女」とする条文を削る案が浮上したが、保守派は「従来の結婚や家庭

の概念が崩壊する」などと猛反発していた。

しかし2018年11月、民法以外の他の形式で同性カップルの権利保障の賛否を問う国民投票が実施され、賛成多数で可決された。これを受けて行政院は、同性婚に関して民法改正にとどまらず、特別法の策定を決めた。

法案では、合法的な財産承継権や医療行為の同意権などを同性間の婚姻に認め、重婚の禁止も明記された。養子縁組に関しては、対象を双方の当事者の一方の実子のみに限定。民法の総則や債権の条文のほか、配偶者や夫妻、結婚、婚姻に関する民法以外の法律が同性婚に準用される。法律の名称は支持派、反対派の双方に配慮し、司法院の判決番号に基づき「司法院積字第748号解



世界らん展に台湾5業者が出展 奨励賞受賞



郭仲熙副代表と出展者

東京ドームで2月15日より開催された「世界らん展2019-花と緑の祭典」(世界らん展実行委員会)に、台湾の花弁(かき)業者5社が出展した。台北駐日経済文化代表処の郭仲熙副代表は同日、台湾のブースを訪れて花を觀賞し、「台湾の光(誇り)」「台湾と日本の友好交流の証し」と称賛した。

今年で29回を迎えた同展は、18カ国・地域から集められた約3000種、約10万株、250万輪以上のらんが展示され、審査申請総数は928作品を誇る世界最大級の催しとして知られる。台湾からはらん産業の振興を目指す台湾蘭花産銷発展協会が5業者を率いてブースを設置した。

同日に五つの部門賞がある「らんのコンテスト」が開かれ、同協会がディスプレイ部門(国内21、海外5、出展総数=61作品)で奨励賞を獲得したほか、ココアオーキッドファーム(可食金鞋蘭場)など2業者が海外奨励賞などを受賞した。同協会の高紀清前理事長

は「日本のランにはピンク系が多いのに対し台湾のらんは色合いが鮮やかだ」と紹介。さらに、「時代の変化に伴って若い世代は色彩が鮮やかな花を好む傾向がある」とし、台湾品種を持つ優位性に自信を示した。

また、高さんによると、台湾が日本向けに輸出するらんは胡蝶蘭の盆栽が最多で、その次がオンシジュームの切り花。近年では葬儀用の切り花が徐々に需要を伸ばしているという。「第2次世界大戦後のベビーブーム世代の高齢化などを見据え、今後10年以内に切り花のニーズがピークを迎える」と分析しており、日本市場拡大に期待を寄せている。

なお同展は2月22日まで開催され、栄えある日本大賞には櫻井一(はじめ)さん(71)の作品「パフェオペディラム エメラルドゲート “グリーングローブ”」が受賞した。



台湾蘭花

人気の台北路線に名古屋便 北九州便を開設した「エアマン」



セレモニーのみ

スターフライヤー(本社=福岡県北九州市、松石禎己社長)が昨年10月より運航を始めた「台北~名古屋」「台北~北九州」の定期便が好評だ。国内線で培った「手ごろな運賃で上質な機内空間」を売りにした結果が要因とみられる。

台湾旅行業界の調査によると、台湾人の「行きたい国」の一位は日本で、一方の日本人の行きたい渡航先も2018年夏休みの旅行ランキングでハワイを抜いて台湾が一位(日本旅行業協会・JATA)となっている。これまで、日台間の人的往来は2016年は607万人、2017年には

646万人に達している。

これに呼応する形で航空各社の日台線の搭乗率も軒並み9割に近く、利用者からは「希望する日程のチケットが取りづらい」という声も上がる程。そこに着目したスターフライヤーが台北(桃園)と北九州、名古屋(中部)を結ぶ2つの定期便を就航させたもの。同社2012年7月に北九州~釜山線に最初の国際定期便を開設し、その後2014年3月に撤退したものの、今回の台北線は4年半ぶりの国際線復活となる。

松石社長は九州大学工学部航空工学科卒業後、全日空に入社し、整備部門を振り出し



増える日台間の人的往来



機体写真

に営業、オペレーション本部などを歴任した根っからの「エアマン」。九州を舞台にした国際線の運航に強い情熱を持っていた。平成26年6月に北九州市に本社を置くスターフライヤーの社長に就任して以来、2年越しの懸案にして、練りに練って投じた一石が、政情の安定、そして対日感情が良い上にインバウンド・アウトバウンドともに伸び盛りの台湾線だったという。「台湾線は国際線の教科書みたいなもの」という松石氏。「まず台北便を成功させて次へ進みたい。台湾の次は活力を秘める東南アジアへ。さらに世界へ」と夢を膨らませる。

「名古屋便はすでに搭乗率が7割に近づき安定軌道に乗っているが、北九州便は圧倒的に交通利便が良くマーケットも大きい福岡空港との競争があつて必ずしも平坦な道ではない。しかし福岡~台北線はチケットが取りづらく、お客様に日程調節をお願いしなければならぬケースが多いとも聞いている。福岡市内中心部から北九州空港までは高速道路経由で僅か一時間余り。安定した運航を積み重ね、認知度を上げていけば、必ず北九州便を利用して頂ける」と確信している。「辛抱する時間は必要だが、それまで努力を続け、国内線で培ったサービス水準を維持していけば、搭乗率8割も見えてくるはずだ。我々が努力すれば北九州・山口・大分を盛り上げることも出来るし、地元が潤えば我々もリターンが期待できる。おかげで平成30年3月期決算(単体)の売上高は380億円と過去最高を

達成した。台北線就航を契機に経営基盤を一層強くして、飛躍の礎を築きたい」と話す松石社長からはエアマンの面目躍如たる情熱が伝わってくるようだった。



▼郭仲熙副代表

人物專訪 副代表郭仲熙 一生懸命點亮台日友誼星火

【東京／採訪報導】只要提到駐日副代表郭仲熙，不少僑界或是日本友台人士都會聯想到郭副代表致詞時幽默風趣、字字珠璣的雙關語總是逗著全場大笑，是外交官中，少數不用看稿致詞，還能展現出極高的文學造詣，而郭副代表從擔任外交官起，一生懸命為台日關係努力至今，點亮多道台日友誼星火，也與日本留下深厚的情感。

投身外交29年 見證台日關係成長

大學就讀日文系，以及曾經留學日本的經驗，讓郭仲熙於1990年透過外交特考的方式，開啟在外交部的生活，希望能學以致用。第一次派駐到東京是1994年，隸屬於政務組三等秘書，2005年再度派駐到東京，擔任政務組副組長，接著2015年擔任代表處的顧問，同年八月升為副代表，負責督導僑務組。

在29年的外交生涯中，郭仲熙處理過許多重大案件，像是釣魚台和台日漁業的問題，參加過多次的台日漁業談判，他提到當初談判時，日方的態度非常堅定，主張以地理中間線為主，對台灣相當不利，後來大家經過好幾輪談判後，才成功爭取到北緯27

度以南的海域供台灣漁民作業。讓郭仲熙印象深刻的還有戰後的債權債務問題，1952年先總統蔣中正以德報怨，對於二戰日本的侵略不提出賠償要求，導致日治期間日本政府在台灣發行的債券等都變成廢紙，後代都希望政府能代為求償，但日本政府認為國家放棄就代表著全數都放棄，後來經過多次爭取，日本政府才對「台籍日本兵」進行賠償。

郭仲熙提到，雖然台日關係近年來發展良好，但其實好幾年前日本對台灣的關係都是非常低調，當時連日本政府內課長階級的人都不願與台接觸，台灣花了很多時間在對日工作上，才成功讓他們敞開心房，現在日本政府的審議官都能來台灣，也願意公開表示意見，像是之前日本外務省副發言人支持台灣以觀察員參與WHA等。

化身紅娘 牽起台日情

對於喜歡泡溫泉的人而言，多少都會知道日本有秘湯的存在，但普遍民眾對秘湯都不太了解，而郭仲熙卻是不折不扣的秘湯通，還曾獲得駐日代表謝長廷的認證，而他能成為秘湯通不是因為放假就四處旅行，必需從

秋田的田澤湖和澄清湖締結姊妹湖開始起。

在台灣和日本關係變好前，秋田縣的田澤湖早就和高雄澄清湖締結為姊妹湖，至今已有31年的歷史，在郭仲熙派駐東京時，因為承接業務時，認識田澤湖角館觀光聯盟會長佐藤和志和事務局的田中先生，兩人非常熱衷並自掏腰包與台灣交流，也很常造訪台灣，讓郭仲熙相當感動，盡力從行政的立場給與幫忙。而佐藤會長剛好就是秘湯「鶴之湯」的老闆，郭仲熙也因此與秘湯結緣。

後來佐藤會長想進一步與台灣其他地方交流，便找上郭仲熙詢問有沒有適合的城市，當時郭仲熙就想到田澤湖有個玉川溫泉，特別以發出稀有放射性「鐳」的溫泉礦物聞名，而且這個溫泉礦物也是因為在台北北投發現，因此得名北投石，全世界僅有北投溫泉和玉川溫泉有這種石頭，於是郭仲熙就建議佐藤會長用這個理由與北投溫泉結緣，締結姊妹溫泉，佐藤會長也同意這個計畫。

最後在郭仲熙的努力下，雙方於2011年八月份在台北市舉辦締盟儀式，時任的台北市長郝龍斌和現任的秋田縣知事佐竹敬久都專程出席儀式，郭仲熙說，30年前的田澤湖和澄清湖締結姊妹湖，是他的前輩努力

促成，現在的姐妹溫泉由他促成，是他的外交生涯中很有意義的事，也因為佐藤先生的介紹，讓他認識由各秘湯組成的日本秘湯協會，所以才能與日本有名的溫泉談上關係。

郭仲熙也特別分享台灣與日本的淵源，像是在日本要被稱為溫泉，必須達到日本的溫泉法規定，其中一項是溫泉要高於25℃，這項標準是取自於日本年平均溫度最高的地方，但像是沖繩過去的年平均溫度也才22.7℃，25℃的規定是因為溫泉法於二戰結束前就開始修訂的，而25℃就是當時台灣的年平均溫度。

另外郭仲熙也曾幫北海道網走津別町和彰化二水鄉牽線，隨後津別町就成立北海道第一個台日親善協會，隨著時間發展至今，北海道已經有24個台日親善會，讓郭仲熙覺得當初自己點燃的小小火星，現在已經開始燎原了，而這些台日情都讓他相當難忘、欣慰，也有滿滿的成就感。

文學結合致詞 有郭仲熙的地方就有歡笑

每當郭仲熙上台致詞時，大家的印象不是各式各樣的唐詩、宋詞、元曲，就是幽默風趣、字字珠璣的雙關語，而且日文的雙關語也都難不倒他，不少日方人士都對他印象深刻，都是因為過去郭仲熙是文科出身，再加上大學讀日文系，研究所攻讀日本文學，讓他能接觸到中日雙方的文學，對詩詞歌賦、日本的川柳、俳句都有涉略，有空閒時也會閱讀文學作品。他說，會想用日文雙關語的致詞方式，是因為用這些比較軟性的話題，能讓場面比較輕鬆一點，氣氛也會變得和諧、歡樂一點。

郭仲熙提到，中國文學比較外向、格局大，日本文學則是內斂、纖細，注重禪的境界，屬於微觀的世界，也比較喜歡表現出意境。他推薦想深入了解日本文學的人，可以先從演歌開始，因為演歌不僅是五七五排列，描述的境界也是日本人所向往的，先了解他們的心境後，再慢慢進到文學，才不會感到困難。

喜歡文學的郭仲熙，難免也會想體會詩詞中的境界，但普遍的作品都是在描述中國的景物，而他礙於身份無法前往，一直感到遺憾，不過來到日本後，他發現有很多日本的景點跟詩

詞中一樣，像是皇居前的楊柳，就能與「吹面不寒楊柳風」相呼應，代表處前種的梅花樹，也讓他體驗到「梅花撲鼻香」。

難忘日本情 願為台日關係燃燒到最後一刻

郭仲熙對現在這份工作非常珍惜，外交生涯一大半都在日本的郭仲熙，已經與日本有特殊的情感，再過兩年也屆齡退休，而且四月返台即將就任台日關係協會秘書長，不論這兩年回到台灣後能發揮多少程度，他都希望在有限的時光內，做到「蠟炬成灰淚始乾」，為台日的關係燃燒到最後，也為台日關係發光發亮，幫自己的公務人員生涯畫下句點。

郭仲熙說，退休後就算擔任義工他也願意為台日關係努力，雖然曾經想過要搬到日本居住，但事實上要取得居留資格非常不容易，經濟上也有困難，只能偶爾來見見老朋友。

接任副代表後，郭仲熙與僑界關係非常良好，不僅大大小小的活動都會捧場，有時候即便休假日，也會自己搭電車去參加僑團的活動，像是一般參加活動的成員一樣，默默的出現在活動現場，讓僑胞們又驚又喜。他也肯定僑胞在台日關係中，扮演很重要的角色，雖然大家身在日本，心還是向著台灣，而且也積極傳承中華文化，可以說是功不可沒。

為了即將返台的郭仲熙，日本台灣商會總會會長陳潘森已經特別自掏腰包，於二月二十六日和東京台灣商會會在台南擔仔麵新分店舉辦郭仲熙的送別會，直到他離日之前，關東地區許多僑團商會都紛紛計畫，甚至是與日方人士合作舉辦送別會，感謝他就任副代表以來對僑團無微不至的照顧，也突顯他在僑界和日方各界的受歡迎程度。



日總會會長陳潘森自掏腰包與東京台灣商會歡送郭副代表



大量招聘！災害修復人員

- ▶ 歡迎各國人士！
- ▶ 無學經歷可，須具備基本日文能力
- ▶ 工作負擔不重，有前輩指導
- ▶ 待命地點：東京，名古屋，大阪（交通費全額補助）

年收入：250萬至400萬日圓
 工作時間：正職 09：00～18：00(每日八小時)，一週五天。
 ※工作期間為數天至數個月，視災害情況而定。
 工作地點：工廠、倉庫、商店等災害現場。
 工作狀況：日本某處災害發生時，根據災難發生地點進行部屬，並提供住所及全額差旅費。
 工作福利：•每年加薪 •根據公司業績給予獎金 •提供完整的社會保險
 •提供制服 •提供證照取得輔導制度



RecoveryPRO Ltd.

地址：神奈川県横浜市港北区新横浜1-29-1 新横浜MRビル

TEL. 045-565-9201 (日文、英文)

kjrtori@gmail.com

呉新興委員長の歓迎会を開催～終始和やかな雰囲気

京都華僑総会は2月11日、創作中華名店「一之船入」にて僑務委員長呉新興先生の歓迎会を開催した。台北駐大阪経済文化弁事処李世丙処長をはじめ、大阪中華総会洪勝信会長、四国華僑総会上島彩会長及び京都日台親善協会小島裕史会長らが臨席した。

魏会長は挨拶で「先日就任した急難救助協会の会長を引き受けました」と報告し、「僑務委員になられた方々には是非とも華僑の模範となり、良い華僑文化を作ってほしい」と、呉僑務委員長に建言した。

一方、呉僑務委員長は、魏会長が急難救

助協会の会長を引き受けた事に感謝の意を表したほか、「今後も中国大陸のような独裁の共産党政権に負けず、海外の華僑で一団結をし、自由民主の国家-- 中華民国(台湾)を引き続き応援してほしいです。中華民国政府もきっと華僑たちのその気持ちに答えるように頑張ります」と激励した。

歓迎会の最後に、魏会長より呉僑務委員長に京都の日本茶名店「一保堂」のお茶が渡され、呉僑務委員長からは会に台湾「阿里山紅茶」が贈呈された。また、臨席者が「高山青」を熱唱するなど、賑やかで和やかな雰囲気の中の歓迎会だった。



呉僑務委員長からは会に台湾「阿里山紅茶」が贈呈された



最後に集合写真を撮る様子

「国際企業人材育成センター」の研修生が福岡県庁と領事館を訪問

台湾貿易センター国際企業人材育成センター(ITI)の日本語プログラム研修生のうち、福岡で実務研修をする台湾人19人が1月27日より福岡に入り、翌28日に福岡県庁と福岡領事館を訪問した。福岡県庁では恒吉隆裕商工部次長、松本恭子商工政策課長、平野慎也企画班長ら関係職員からの歓迎を受け、研修生一人ひとりが流暢な日本語で自己紹介した。

福岡県庁を代表して挨拶した恒吉次長は、まず福岡県がITIの研修生を受け入れるのは今年が16回目、これまで348人が県内企業や団体で研修した事に触れ「今年も若い優秀な方々を迎えられ喜んで」と述べた。また「昨年30万人の台



湾の方が福岡県に来られたがこれは5年前の3倍であり、福岡空港に加え北九州空港にも台湾との直行便が就航し、人的往来はさらに伸びていく見通しである」とした。さらに母の「あまおう」に代表される福岡県の農産物が台湾で広く受け入れられ、昨年小川洋福岡県知事とともに県議会議員が台湾を訪問し、農産物や福岡の魅力をPRしたことなどを披露。福岡県と台湾との深い結びつきを強調した。

最後に研修生に対し「インフルエンザが流行する時期なので体調管理に十分注意して研修を終え、福岡のファンになって台湾に帰って欲しい。そして将来台湾と福岡、台湾と日本を結ぶ架け橋となって活躍してほしい」と締めくくった。これに対して研修生の代表は「両国の架け橋になれるように、しっかりと日本の文化と企業を勉強したい。これを機に新しい事にもチャレンジしたいので、応援とご指導をお願いしたい」と応じた。

続いて訪問した領事館(台北駐福岡経済文化辦事處)では、陳忠正総領事(處長)、洪臨棟部長、李杰宏課長、蔡宜均課

長のほか、大勢のスタッフが研修生を出迎えた。

陳総領事は冒頭、この研修プログラムが16年もの長期間の継続に、同行した福岡県商工部の田中紗季氏に対し「県の支援と協力が無ければできない」と御礼、研修プログラムを運営する台湾貿易センター(TAITRA)福岡事務所の駱慧娟所長と所員の労をねぎらった。

一方、研修生に対して「皆さんにはこの研修を通じて出来るだけ多くの日本人と接触して日本の文化を知って欲しい。日本人は皆さんを見て台湾人を評価するだろう。初めて台湾人に接する日本人も多いのだから良いイメージを持ってもらうように努力して欲しい。ファーストインプレッションが大事である。多くの日本人は『台湾人は頼りがいがある』と思っている。中国とのビジネスは大きい利益につながるかも知れないが、日本人の中国に対する信頼度は高くない。皆さんが旧台の信頼関係を一層強いものにして両国の架け橋になって欲しい」と訓話した。

訓話の後、研修生は領事館が用意した台湾料理に手を伸ばしながら、思い思いに職員らへの質問や議論するなど昼食を摂り、訪問を終えた。

IKKOさん台湾産の蘭と着物をコラボレーション



「IKKOのオーキッドルーム」コーナー世界最大級と称される「世界らん展2019」が2月15日より同22日まで東京ドームで開催された。美容家として、また数々のTV番組や媒体に露出して人気を博しているIKKOさんが、らんと着物をコラボレーションさせた「IKKOのオーキッドルーム」コーナーを同展示会期間中に開催した。

このコーナーに飾られている蘭の花は、紅鉅国際有限公司の楊淑文総裁がIKKOさんの要請に応じて花材全てを台湾から運び、しかもデザインも楊淑文総裁自ら手がけた。そのらんをIKKOさんのコーナーに着物とともに展示したもの。同展2日目の2月16日、台湾行政院農業委員会、台北駐日経済文化代表処、東京台湾商工会、紅鉅国際有限公司の協力により、IKKOさんは台湾メディアとの共同インタビューに応じた。IKKOさん同展のために、あつらえた着物三着から黒地に白の胡蝶蘭を刺繍した着物姿で登場した。

胡蝶蘭と着物の共通点

IKKOさんは30歳で独立し、「アトリエIKKO」を設立・主宰した。当時は胡蝶蘭を贈り物として用いており、その頃は単に「胡蝶蘭を贈ってさえば大丈夫(失礼はない、無難である)」という気持ちでいたが、50代になると胡蝶蘭は気を遣わせる花と思うようになった」という。

「気を遣わせる花」とは、贈答用の胡蝶蘭は本来花びらの並び方、花卉の厚みなど全て計算しつくされているものであり、しっかりと品質の物を選び、相手に贈ることが大切だと認識したから、という。これは着物も同様で、レベルが問われるという点で共通しているという。胡蝶蘭も着物も高級なイメージだけに、頼るのではなく本質的な価値も備わっていなければならないという共通性を感じた。

自身にとっての胡蝶蘭と着物について

30歳で経営者になった時、しっかりやっていたか不安もあり、悩んだ時期もあったが、そんな時に好きな胡蝶蘭と着物が私の心を支えてくれた。胡蝶蘭は見ていると高貴で、気高さや凛としたものがあり、連なって咲いた最後の一輪まで、それらを変わず残している。着物にも胡蝶蘭と同様のものを感じさせる。悩んでいる事があっても、着物を着て帯を締めると気持ちも一転し、頑張っていこうという気持ちになる。そうやって今まで乗り越えて来られた。

「IKKOのオーキッドルーム」に展示されている蘭のディスプレイは台湾の「紅鉅国際有限公司」総裁の楊淑文女士のデザインによるもの。このコーナーに飾る蘭の花のデザイナー選定については、出展を要請された

NHKの担当者にフラワーデザイナーの候補者リストを提供してもらった。そのファイル資料を見て、一目で楊女士の作品が目に入った。特にフォルム、色の選別が印象的だった。

また胡蝶蘭を大きな丸型のデザインにするのは大変だという事は容易に想像できた。今回、会場で指定した通りのデザイン・色が再現できた事に関しては、これだけのものをデザインし、指定した通りの濃いピンクの胡蝶蘭を揃え、形にしていく能力も才能もある人物だと思いました。

胡蝶蘭の好きな色は?

濃い鮮やかなピンクが好き。ピンクは女性にとって、可愛らしさ、愛くるしさを表すオーラがある。とりわけ濃いピンクはブレない芯のある女性の、凛とした華やかさがあるような気がする。最近ではミニ胡蝶蘭も気に入って飾っています。

台湾に行ったことがあるか?

一昨年、テレビのロケで行ったが、日帰りだったので忙しかった。その時は台北の中正紀念堂(自由広場)を訪れた後、市場に行って屋台料理を食べた。個人的には10分に行きたいです。



左から台北駐日経済文化代表処経済部次長代表戴德芳、紅鉅国際有限公司セールスマン劉洋、IKKOさん、楊淑文総裁

台湾女流棋士の黒嘉嘉さんが仲邑新初段と記念対局



日本棋院発行の専門紙「週刊碁」の新初段シリーズ企画で2月20日、今年4月に史上台湾女流トップ棋士の黒嘉嘉七段(24歳)と記念対局した。対局は228手まで、中押しで黒七段が勝利した。

黒七段は「私は6歳で囲碁を始め、9歳でアマチュア初段のレベル。話題の仲邑さんは9歳にしてこれだけ打てるのは素晴らしい。将来、間違いなく世界チャンピオンになれる」と太鼓判を押した。一方、対局後、大勢の報道陣に囲まれた仲邑新初段は「うまく打てた」「(終盤の)ヨセで失敗した」と振り返った。

話題の対局には、開始を合図する立会人には藤沢里菜女流名人(20歳)が努

めた。また、黒七段と親交が深い台湾出身の謝俊爻六段(29歳)も駆けつけ、このほか多くの棋士も観戦に訪れた。

今回の記念対局は、2月22日に開幕する「SEIKO CUP ワールド碁女流最強戦2019」に黒七段が出場するのに合わせて対局が組まれたもの。同棋院のWebサイト内で棋譜の進行が配信され、CS放送では生中継されるなど、タイトル戦なみの対応だった。

女流最強戦で黒嘉嘉七段が惜しくも3位

囲碁の国際女流棋戦「SENKO CUP ワールド碁女流最強戦2019」の3位決定戦が2月24日、東京都千代田区の日本棋院で開催され、台湾の黒嘉嘉七段が日本の佃亜紀子五段に白番中押しで勝利し、今大会の第三位が決まった。

この大会は、日本、台湾、中国、韓国、欧州の代表8人が2月22日よりトーナメント形式で競われ、今年で2回目。黒七段は昨年は準優勝で、今大会は1回戦で上野愛咲二段を下して準決勝に進出したが、準決勝で韓国の崔精九段に敗れ、三位決定戦に回っていた。なお、同日行われた決勝では中国の於之瑩六段が崔九段に勝ち、昨年に続き2連覇を達成した。



女流最強戦の3位決定戦(写真提供:中央社)



女流最強戦で黒嘉嘉七段が惜しくも3位(写真提供:中央社)

留学生支援のお知らせ

2019年度より台湾の大学への留学支援として①初年度の学費②初年度の寮費を全額負担します。なお現地での生活費等は自己負担となります。

対象者は①日本人(日本出身者)②日本の大学の推薦の資格を持つ人となります。

留学支援を希望する人は、上記の資格を有する対象者で、履歴書を「台湾新聞社 留学センター」宛てに「留学希望」と明記して郵送かメール(メールのタイトルを留学募集としてください)にてご送付、ご送信ください。

2019年3月1日受付開始

郵送宛先=株式会社 台湾新聞社 留学センター
〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4
TEL03-5917-0045
メールアドレス=info@taiwannews.jp

協賛:
一般社団法人日進人材協会
★協賛者募集中

台湾新聞助學金

台湾新聞社の留日助學金制度:
1. 助學金10萬日幣
選考条件:
1. 中華民國國籍或不動産工作者
2. 20歳~30歳
準備文件:
1. 個人履歷(簡歷+想來日本讀書理由, 附相片, 格式不限)
2. 台灣保證人資訊(父母地址、電話、並且簽字蓋章)
3. 有學校老師或上司推薦文件佳
相關文件請郵寄台灣新聞社留學中心或mail(件名請寫: 留學募集)至本公司
地址: 171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 株式会社台湾新聞社
電話: +813-5917-0045 信箱: info@taiwannews.jp

活動贊助商:
三富株式會社
一般社団法人日進人材協會
★協賛者募集中

補充事項:
1. 本制度僅學費20%減免和助學金10萬日幣
其他費用自付
2. 語言學校由台灣新聞社指定
3. 若有疑問請與台灣新聞社聯絡

橫濱台灣商會會長林隆裕接任 加強服務造福台商



林隆裕會長致詞

【橫濱／採訪報導】日本橫濱台灣商會於二月十六日舉行會長交接儀式，由第三屆會長洪益芬交接給第四屆會長林隆裕，駐日副代表郭仲熙、橫濱辦事處代理處長王東生、日本台灣商會總會會長陳潘森等關東地區的僑領皆出席見證，林會長表示只要商會能做到的事，將來都會全力以赴達成。

副代表郭仲熙致詞時表示，橫濱台灣商會今天可喜可賀的完成新舊會長交接，從此展

開新的氣象，相信會有更好的發展。對於橫濱台灣商會在橫濱地區擔任日台友好的橋樑，貢獻良多，郭副代表也表示由衷敬佩之意，並希望僑界能保持團結一致，繼續為日台關係努力。

日本台灣商會總會會長陳潘森則表示，橫濱台灣商會在前幾任會長領導下，會務昌榮，林會長接下來的領導也是一級棒的，而下個月橫濱也將產生日總的總會長，相信在兩位會長的領導下，一定會有更進一步的發展。

會長林隆裕表示，在日本台灣商會總會六個分會中，橫濱比較晚成立，但發展速度卻很快，目前已經三十多位理監事，排名到第三個分會，而橫濱商會大家都很有心、團結，才能成長較快，未來的目標會越來越大，沒有極限，只要商會能做的事都會全力以赴，造福橫濱的台商們。

剛卸任的洪益芬會長除了感謝這段期間眾人給予的支持，她也提到，因為會長的職責會接觸到各式各樣的人和環境，讓她學習到很多，而將來不是卸任就沒有責任，還是會繼續支持商會，特別是今年橫濱將出現一位日總會長，這對商會來講是很重要的責任，必須讓商會發展的更好，另外大家給橫濱商會的風評都是很溫馨，但她希望不只有溫馨，而是要繼續成長，盼大家能繼續給予商會支持。

因為交接儀式在元宵節之前，活動現場大家都互道恭喜，延續農曆過年的氣氛，也特別安排僑胞帶來國標舞做為餘興節目，另外僑胞們也都提供豐富的獎品做抽獎，隨著獎項越來越好，特別是抽到大獎來往台北的機票時，讓現場的氣氛更加沸騰。



出席來賓與橫濱台灣商會合影



橫濱台灣商會新任會長由林隆裕接棒

僑委會春訪團橫濱公演 台灣雜技獲滿堂彩

【橫濱／採訪報導】僑委會春節文化訪問團於二月十三日在神奈川市民會館舉辦公演，今年由國立台灣戲曲學院台灣雜技團演出，以應景的「鑼鼓喧天 台灣情」為主題，並以在地文化為創作靈感，結合傳統雜技藝術，透過舞蹈、戲劇、藝陣等方式呈現，演出十分精彩，大受僑胞歡迎，掌聲不斷。

駐日代表謝長廷開場致詞時表示，每年都要看了文化訪問團的表演後，才有新年快樂的感覺，我們的新年就是鑼鼓喧天、鞭炮聲響、拍手恭喜，這也是台灣文化元素，非常感謝僑委會每年都推出文化訪問團，特別是亞洲第一場都是來日本，感覺到很光榮，也很謝謝橫濱華僑總會主辦。

僑委會副委員長高建智表示，很感謝日本的親鄉朋友長期對中華民國台灣的支持，並作為台灣的後盾，而台灣是多元文化的國家，這次的演出團隊將傳統雜技與台灣多元族群融合，不僅是陣頭文化或戲曲等，相信訪團的表演能帶來更好的新年氣氛，也能藉此增進台灣和大家的友誼。

這次由台灣戲曲學院校長張瑞濱帶領十二個台灣雜技團演員組成訪團，帶來各式各樣

的演出，不論是持竹竿耍盤、穿跳技巧、足上特技、陣頭、疊羅漢等，將台灣在地多元文化特色融入其中，讓台下的僑胞都大呼過癮，不停鼓掌。

張瑞濱提到，很謝謝僑委會給台灣戲曲學院機會，能將我們精心編演的特技元素來分享給日本的鄉親，演出包括過年的氣氛、小時候各種的回憶、宗教活動，還有老祖先從大陸經過黑水溝到台灣開墾的艱辛故事，也相信我們不用言語來說明，大家看到這些表演，就可以想起來以前台灣生活的景觀就是這樣。

謝長廷看完表演後也讚不絕口，他說，表演融入很多台灣的元素，從第一幕開始黑水溝的、原住民的等很有意思，符合台灣多元的文化，表現出活力跟生命力，而天氣冷對



表演呈現出老祖先從大陸經過黑水溝到台灣開墾的艱辛故事 團員很危險，肌肉會僵硬，他們的表現很好，小時候以外就沒有再看過雜技的表演，有回到小孩子時代的感覺。

橫濱華僑總會會長洪益芬表示，看完表演真的很感動，這種表演把以前快被忘記的傳統表現出來，讓大家能回味小時候的感覺，而且對海外華僑來講，能讓大家回想到家鄉，不會忘記家鄉的傳統，也非常感謝僑委會每次訪團第一站都來日本，給僑胞過一個新春的氣氛。



台灣戲曲學院校長張瑞濱、橫濱華僑總會會長洪益芬、僑委會副委員長高建智、駐日代表謝長廷與演員們合照



舞團也將原住民文化融入服裝和表演中

留日台灣同鄉會懇親大會 與惠庭日台親善協會締結姊妹會

【東京／採訪報導】中華民國留日台灣同鄉會於二月二十三日在雅敘園飯店舉行七十四周年懇親大會，僑委會委員長吳新興專程從日致賀，駐日代表處副代表郭仲熙及各僑領也都出席共襄盛舉，其中惠庭日台親善協會會長土谷秀樹更組團參加，並於會中與留日台灣同鄉會締結姊妹會。

僑委會委員長吳新興表示，三個月前參加美國的台灣同鄉會五十年，覺得很不簡單，這次受邀參加留日台灣同鄉會時，才知道已經有七十四年的歷史，覺得更了不起，很感謝張春美會長接續前人的努力，持續發展台灣同鄉會的會務，也藉此謝謝全球僑胞對故鄉的支持，做為國家在海外的延伸，協助台灣的經濟發展、鞭策政府。

副代表郭仲熙表示，留日台灣同鄉會七十四周年，可以說是留下光輝的歷史，在各位先進胼手胝足努力之下，才能今天的成就，也是大家有目共睹，也希望這樣傳統的薪火能生生不息、代代相傳，讓歷史能更加光輝，以及日台關係在大家的協

助下，能有更好的發展。

會長張春美表示，自2017年五月接任會長以來，秉持留日台灣同鄉會的精神，也獲得代表處、歷代名譽會長、顧問團、理監事們和各界的支持，讓會務得以發展順利，2017年十一月與北海道惠庭日台親善協會建立交流，2018年五月與菲律賓台灣同鄉會締結姊妹會，2018年與留日東京華僑總會組團返台，獲得副總統陳建仁和國民黨主席吳敦義的接見，這些點點滴滴，都歸功於幹部夥伴們的辛勞，以及理監事和會員們無怨無悔的付出，將來也會繼續為留日台灣同鄉會打拚，為擴展國民外交賣力，讓留日台灣同鄉會與台灣一同在日本國際舞台上發光發亮。

自從留日台灣同鄉會與惠庭日台親善會建立交流後，彼此都保持密切的來往關係，去年九月留日台灣同鄉會也再次遠赴北海道造訪惠庭日台親善協會，為了深化雙方的交流，懇親大會中，在吳新興委員長和郭仲熙副代表、歷代名譽會長的見證下，兩會會長一同簽字，宣布締結姊妹會。



中華民國留日台灣同鄉會與惠庭日台親善協會締結姊妹會

這次的懇親大會共有兩百多人出席，其中包含中華民國旅館商業同業公會全國聯合會名譽會長徐銀樹，他表示，過去在日本留學時，曾獲得留日台灣同鄉會的幫助，也很謝謝張春美會長每次來台灣都會拜訪他。另外懇親大會也舉辦抽獎活動，獎品包含商品券、機票等，讓現場氣氛嗨到最高點，最後眾人一同合唱《愛拚才會贏》，為懇親大會畫下完美句點。

關西生命線除夕圍爐 安倍夫人到場支持

【大阪／採訪報導】「關西生命線」於二月二日在大阪市舉行除夕圍爐活動，吸引近三百名各界人士參加，今年的圍爐活動出現了一名神秘嘉賓，就是安倍首相夫人安倍昭惠，安倍夫人的到來讓在場的參加者驚喜不已，參加者紛紛要求與其合影。

安倍昭惠夫人在致詞時表示，去年「關西生命線」代表伊藤綠女士(本名梁碧玉)榮獲公益財團法人社會貢獻支援財團頒發的社會貢獻者獎時，她是會長兼頒獎人，當時就很希望有機會實地了解「關西生命線」的活動。對於許多言語不通，生活不便的國際配偶者、留學生以及殘留孤兒而言，「關西生命線」的伊藤代表在他們最困難的時候伸出了寶貴的援手。

安倍夫人也提到，未來將會有更多外國人來到日本工作，如何幫助這些人在日本過上幸福的生活，是很重要的課題。她非常肯定「關西生命線」的社會貢獻和意義，並期許「關西生命線」的工作範圍更加擴大，不只是華語圈，也可服務更多有需要的在日外國人。

「關西生命線」成立於1990年，創辦人梁碧玉來自台灣，曾在高雄生命線服務過，1978年她嫁到日本，育有二子，親身經歷過適應日本生活以及教育子女各種問題。1988年，他從日本的新聞報導看到連續發生嫁到日本的台灣女性跳河自殺的事件，社工出身的她頓時產生了，如果這個時候能夠有人陪伴在他們

身邊，給予華語、台語和日語的協談和支持，或許不致於走上絕路。於是經過不斷的奔走努力，終於在1990年正式於大阪成立以提供華語及日語協談為主的「關西生命線」，二十多年來該機構已經協助過上萬個案件。

「關西生命線」不僅是提供電話協談，也積極舉辦各種交流活動，例如除夕圍爐和中秋賞月大會，以及開辦料理教室和專題講座等。代表梁碧玉表示，「關西生命線」所有參與者都是志工，他希望「關西生命線」成為在日國際配偶者、留學生及殘留孤兒最好的朋友，不論是自殺協談，面對家暴、霸凌、或各種緊急事故，「關西生命線」都會基於人道關懷，不分種族、國家、宗教，盡力給予陪伴、支持，透過二十四小時電話專線06-6441-9595，協助所有需要幫助的人。



右起關西生命線代表梁碧玉、首相夫人安倍昭惠、來賓大谷透

留日大學教師聯誼會新年演講會 詹秀娟連任會長



黃冠超組長說明台灣教育現況等

【東京／採訪報導】留日大學教師聯誼會於二月二十四日在東明飯店舉行2019春節新年演講會，請到今年新上任的台北駐日經濟文化代表處教育組組長黃冠超演講，以「國際教育挑戰與前瞻」為題，分析台灣教育的現況，會中也進行會長和理監事改選，

結果由現任會長詹秀娟連任。

會長詹秀娟表示，留日大學教師聯誼會成立於1977年，目前會員有九十名左右，有不少教師都已退休，但還是非常熱心參加聯誼會，近年來台灣和日本的關係良好，台灣教師也有增加的傾向，希望大家都能來參加活動，俗話說前人種樹，後人乘涼，我們現在是接棒人，將聯誼會繼續交給下一代的後輩，繼續擴大、成長。

教育組組長黃冠超表示，要感謝老師們長期以來對代表處的支持，教師聯誼會是結合老師們建立的團體，希望能一棒接一棒傳承下去，做為老師聚會的平台，也是與國內交流的橋樑，未來教育組不僅是提供資訊的平台，老師們有任何需要幫助，教育組會全力

支援。

針對台灣目前的教育現況，黃組長也指出不少面臨的問題，包括新生人數減少、留學生人數減少、優秀教育人才流失等問題，但他也說明，教育部有積極推動政策力挽狂瀾，像是效仿日本地方創新的方式，輔助學校轉型、培育國際人才、配合政府新南向政策，拓展東南亞地區，建立雙邊交流等。

演講會後，隨即舉辦新年交歡懇親會，而今年剛好是會長和理監事的改選，教師聯誼會也在活動結束前舉辦會員大會，由出席會員不記名投票，選出七位理事，再從中選出會長、副會長、監事，原本想交接的詹會長也因為受到大家的肯定，繼續擔任會長，副會長也由現任的黃國光連任。



參與這次春節新年演講會的會員與來賓合影



防患未然 關西地區僑界急難救助協會正式成立



【大阪／採訪報導】關西地區僑界急難救助協會二月九日在大阪市大東洋餐廳舉行成立大會，僑務委員會委員長吳新興出席並頒發證書給第一任會長魏禧之及三位副會長洪勝信、陸超、謝美香等人。吳新興委員長表示，關西地區是全球第六十五個急難救助協會，該協會成立的目標是建構一個保護海外台灣同胞的安全網。

第一任會長魏禧之，同時也是京都華僑總會會長致詞時表示，早在協會正式成立以前，關西地區各個僑社就配合大阪辦事處，從事過各種緊急救助活動。例如京都地區，去年就發生不少急病、丟失錢包、護照等緊急事故，京都華僑總會都提供了相應的協助。很高興關西地區僑社整合成立一個急難救助協會，未來我們會在駐大阪辦事處的指導下，提供海外台灣同胞各種急難救助服務。

吳新興致詞時表示，自從他上任之後，就積極在全球各地籌組急難救助協會，因為政府的人力有限，但是海外僑胞的力量是無限的。目前已經在全球三十個國家成立六十四個急難救助協會，關西地區是第六十五個，目標是為海外的台灣同胞建構一個安全網，因應各種突發事故。關西急難救助協會將與大阪辦事處積極配合，幫助在海外遭遇緊急事故的台灣同胞，他特別感謝並恭喜每一位熱心參與的僑領，願意出錢、出力、出時間，幫助人，作功德，是有福氣之人。

不論是在海外觀光或就學或工作的台胞，或是僑胞在海外若有發生緊急事故，可以查詢僑委會

官網的急難救助協會專線，或是撥打各地外館的二十四小時緊急聯絡電話，將有專人協助聯絡急難救助協會提供協助。



吳新興委員長(右三)頒發證書給魏禧之會長(右二)和三位副會長



第一任會長魏禧之致詞

僑委會委員長吳新興致詞

大阪春節祭展現台灣美食和文化魅力

【大阪／採訪報導】第十九屆大阪春節祭於二月十日在大阪中華學校舉行，雖然氣溫接近零度卻不減參加者的熱情，現場人山人海水洩不通，各種台灣美食的攤位前大排長龍，充分展現台灣美食和文化的魅力。

大阪春節祭是由大阪中華總會及關西各華僑團體聯合主辦，目的為了慶祝農曆春節以及促進日台親善文化交流，今年美食攤位和表演活動比往年更豐富多彩，吸引數千民眾不畏嚴寒參加，將大阪中華學校的操場擠得水洩不通。

僑務委員會委員長吳新興已經連續三年參加大阪春節祭，吳新興致詞時幽默地表示，在台灣過年和在日本過年最大的不同是，日本非常地冷。他並詢問在場來賓去過台灣的舉手，有不少人舉手，他表示台灣是最歡迎日本觀光客的地方，歡迎更多日本友人到台灣觀光旅遊。

現場的美食攤位有各種道地的台灣美食和客家美食，如大阪中華總會婦女會的台灣香腸，四國華僑總會



大阪春節祭實屬一起歡打陳年紹興酒壘會的滷肉飯、魚丸湯，欣華會的油條，5 5 1蓬萊的紅豆年糕，關西崇正會的客家小炒，同客餃子館的梅干扣肉，台南市後援會的台南擔仔麵，大阪台灣同鄉會的蛋餅，京都華僑總會的香雞排，慈濟的草阿粿，饗的麵線等等，各種美食讓人眼花撩亂，許多攤位均大排長龍。表演節目也十分精彩，有太鼓、舞獅、民族舞蹈、電音三太子、二胡演奏等，其中新象劇團帶來的變臉等民俗雜技更是壓軸高潮，大阪春節祭活動充分展現台灣美食和中華文化之美，是一台相當成功的日台文化交流活動。



吳新興委員長為台灣美食攤位加油打氣



5 5 1蓬萊推出年糕等應景的年節美食

欣華會吃元寶藏驚喜 溫馨慶新年



欣華會歡喜舉辦2019新年會

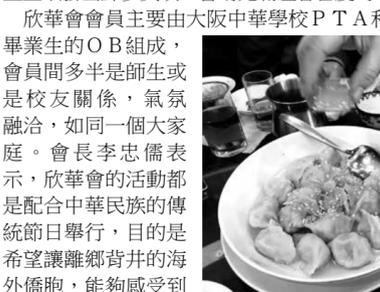
【大阪／採訪報導】欣華會二月十六日在大阪大東洋餐廳舉行新年會，會長李忠儒、關西台商協會會長俞秀霞及許多大阪中華學校的家長會OB及畢業校友均出席參加。會中穿插了過舊曆年常見的傳統習俗-吃元寶，並且頒發了許多獎項，會場充滿溫馨喜慶的年節氣氛。

欣華會會員主要由大阪中華學校P.T.A和教職員和畢業生的OB組成，會員間多半是師生或是校友關係，氣氛融洽，如同一個大家庭。會長李忠儒表示，欣華會的活動都是配合中華民族的傳統節日舉行，目的是希望讓離鄉背井的海外僑胞，能夠感受到家鄉的氣氛。

新年會上有一個小驚喜，就是在佳餚中有一道撒金箔粉，象徵招財進寶的水餃。每一桌只有一個幸運兒，可以吃到其中一顆暗藏驚喜的元寶水餃，中了好彩頭的幸運兒，可以上台領取賀歲紅包。只見水餃上桌時，所有與會者都很興奮並期待吃到幸運的水餃，為今年博個好彩頭，整個活動充滿年節的趣味性。

李忠儒會長表示，新的一年，欣華會很高興邁向第十六年，雖然我們不是規模很大的會，卻是很溫暖，很有人情味的會。今年我們也會舉辦如端午節，中秋節等活動，同時也計畫恢復慰問老人院的慈善活動。

另外新年會中也依照慣例頒發圖書禮券給今年即將從中學、高中、大學畢業的會員子女，以及頒發祝賀金給即將舉行成人式，或即將生產的會員等，所有與會者均感受到回家過年的氣氛和溫馨。



撒上金箔粉的水餃中有一顆暗藏驚喜



新年會參加貴賓合影

神戶中華街「南京町」盛大舉行春節祭



神戶中華街「南京町」慶祝一百五十周年生日

【神戶／採訪報導】歷史悠久的神戶中華街「南京町」二月五日盛大舉行春節祭，活動十分精彩，有舞龍舞獅、變臉等民俗表演，以及歷史人物遊行等，吸引了不少遊客前往參加。

隨著鞭炮聲的響起，「南京町」的春節祭正式開幕，中華街道路兩旁處處張燈結綵，充滿過年歡樂的氣氛。神戶副市長岡口憲義在開幕致詞時表示，神戶中華街「南京町」歷史悠久，一直深受當地人喜愛，也是神戶市知名的觀光景點。今年「南京町」為了慶祝一百五十周年生日，有許多精彩活動，如前日一條長達四十七公尺的巨龍遊行整個商店街，今日則有三國演義英雄、楊貴妃等歷史人物的遊行，以及各店家準備的大福袋，當然還有最令神戶人驕傲的「南京町」美食。他希望「南京町」未來能夠舉辦更多精彩活動，為神戶市帶來更多活力。

「南京町商店街振興組合」理事長曹英生(老祥記第三代店主)致詞時表示，記得三十三年前第一次舉行「南京町」春節祭時，日本人都搞不清楚是甚麼選在這一天的活動，連續辦了三十年後，現在大多數日本人都知道農曆春節的意義了，身為華僑的他感到十分高興。另外為了慶祝「南京町」一百五十周年生日，商店街籌畫了一系列有意義的活動，最後一個活動是二月二十四日將有一個專題研討



神戶中華街「南京町」春節開幕典禮

會，討論新老華僑如何共生共榮。由於有許多人都希望慶祝活動能持續下去，因此他在此宣布明年將會繼續舉辦一百五十一周年的慶祝活動。

「南京町商店街振興組合」副理事長「南京町」施蓮棠表示，春節祭已經舉辦了三十一屆，這個活動有一個重要的意義是，希望透過各種活動將中華傳統文化和習俗傳承給下一代。「南京町」春節祭的活動將持續到二月十一日為止，想要感受濃厚春節氣氛以及中華美食的人千萬不要錯過。



精彩的舞獅表演

西遊記中的唐僧等人物造型

亞太經濟情報社與關西台商會聯合捐贈大阪中華學校電子書

【大阪／採訪報導】關西台商協會與亞太經濟情報社二月十四日聯合捐贈大阪中華學校五百本繁體字電子書，希望能幫助海外的中華學校宣揚傳統中華文化，內容涵蓋適合小學、國中、高中階段的多種課外讀物，由大阪中華學校校長陳雪霞代表接受。

亞太經濟情報社社長黃鈺珈(保川)表示，贈書活動起源於陳建仁副總統在2017年十二月二十六日對日本地區三所中華學校回國參訪團的演講提到，期許海外的中華學校能繼續傳承以繁體字注音系統教學的「傳統中華文化」並發揚大。亞太經濟情報社作為台灣第一大電子資料庫「台灣經濟新報」在日本的總代理，我們非常願意結合台商的力量，協助日本地區三所中華學校發揚「傳統中華文化」。

於是在前僑務委員賴玉珍的熱心奔走下，加上關西台商協會俞秀霞會長及洪麗華副會長的大力支持，很快促成關西台商協會與亞太經濟情報社的聯合捐贈活動，完成了陳副總統給予的在日本推廣「傳統中華文化」的使命工作。



亞太經濟情報社與關西台商會捐贈大阪中華學校電子書捐贈活動第一站是大阪中華學校，緊接著亞太經濟情報社還將陸續前往東京中華學校還有橫濱中華學校舉行捐贈儀式。捐贈的電子書有五百本，內容涵蓋有聲書、漫畫、電子教學書籍、輔導書籍及各式各樣學中文的課外讀物。學生們可隨時透過手機、平板電腦、電腦等工具，同時或分別閱讀此電子書，藉此提升中文教學的成效，及推廣繁體注音的中文學習。

Digest News / February 2019

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

Feb.1 原発運転の延長せず～2年以内は火力発電年1%減少へ

2018年の国民投票による脱原発政策に反対する3つの案を受けてこのほど、台湾経済部(沈榮津経済部長)は既存の原子力発電所の運転延長や凍結中の第4原発(新北市貢寮区)の凍結解除を実施しないと決めた。一方、火力発電に関しては、投票結果が効力を持つ「2年以内は年1%ずつ発電量を削減する」と発表した。沈部長は「電力の安定供給は可能」とした。先の国民投票では、火力発電所の発電量の「毎年少なくとも平均1%削減」、石炭火力発電所または発電

ユニットの新設、拡張の停止について賛否を問う2つの案が野党・国民党から出され、原発支持派の団体から、電気事業法に盛り込まれた「2025年までに全原発の運転停止」という条文の廃止を求める案が提案され、いずれも可決されていた。経済部は昨年12月2日付で25年までの脱原発目標を定めた条文を無効にしたほか、石炭火力発電所の建設、拡張の計画も現時点ではないとし、今回は主に火力発電の発電量削減について実現可能か検討したと説明した。

Feb.1 日ハム王柏融、栗山監督や日本メディアから高評価

日本ハムの海外キャンプが米アリゾナ州スコッツデールで始まった。キャンプイン早々、新加入の王柏融外野手が栗山英樹監督や日本メディアから高評価を受けている。キャンプ初日はキャッチボールや打撃練習、ウエートトレーニング、2日目には守備練習などを行った。栗山監督は王選手の今後の守備位置や打順について「まだ決まっていな」としながらも、調整ぶりを肯定的に捉え、日本ハムの竹田憲宗社長も同日、「ベリーグッド。ベリーグッド」と英語でたたえた。キャンプ取材している日本人記者は

「身体能力が高く年間20本の本塁打を放つ実力がある」と太鼓判。また「スイングがスムーズだ」とした。さらに「日本人投手が投げられるレベルなチェンジアップやフォークボールに対応できるか注目したい」と話した。



王柏融外野手 (写真提供: 中央社)

Feb.1 欧州議会、相次ぐ台湾支持の声

欧州議会の親台派議員はこのほど、本会議で相次いで「台湾支持」を表明した。中国の習近平国家主席は1月2日、対台政策に関する演説で「一国二制度」による統一を主張し、武力行使の可能性を排除しない姿勢を示した事で、欧州議会は两岸(台湾と中国)関係に対する国際社会の関心が高まっている。ワーナー・ランゲン議員(ドイツ)は、習氏の談話について、中国がこのような威嚇を続けるのであれば、欧州連合(EU)の対応はただ一つ「外交面で台湾を承認すること」との見解を示し「米国の台湾とその民主主義を守るように」と呼び掛けた。ライマ・アンドリキエ議員(リトアニア)は習氏の発言に憂慮を示し

「一国二制度反対は台湾の共通認識」とし、「欧州は台湾人民の願いと権利を尊重し、中国は台湾が存在する現実に向き合うべきだ」と訴えた。このほか欧州議会が代表団を台湾に派遣するべきとの提言や、欧州は民主主義の台湾と一丸になるべきとする意見も出された。



ワーナー・ランゲン議員と蔡英文総統 (写真提供: 中央社)

Feb.9 台湾人と結婚した日本人が外国人で2番目へ増加幅ではトップ

台湾内政部がこのほど公表した婚姻に関する最新統計で、2018年通期に台湾人と結婚した外国人(中国、香港、マカオを除く)1万2392人のうち、日本人が1045人で、6070人の最多だったベトナム人に次いで2番目に多かった。増加幅では日本人は前年比9.3人増でトップだった。台湾の2018年通期の婚姻総数は13万5403件で、台湾人同士の結婚は全体の約85%、11万4795件だった。台湾籍を持さない配偶者は計2万608人で、東南アジア出身者が計8749人と、中国、香港、マカオ出身者の計8216人を上回った。前年との比較では、外国籍配偶者が計245人増加した一方で、中国・香港・マカオ籍配偶者は計734人減少した。同性による、直近10年の婚姻件数はおおむね年間13～15万件の間で推移しているものの、2015年以降から減少傾向が目立ってきている。台湾では、昔ながらの言い伝えで結婚に過ぎないとされる年があり、これに当たった09年は11万7099件に激減した。2018年は前年比1.9%減で、09年に次ぐ少なさだった。

Feb.11 今井さやかさんが台湾ラミゴ遠征に同行

台湾プロ野球「ラミゴモンキーズ」はこのほど、沖縄・石垣島で千葉ロッテマリーンズと二日間交流試合を行った。ラミゴのチアリーダー「ラミガールズ」で唯一の日本人メンバーとして活動する今井さやかさんも遠征に同行し、熱い応援を繰り広げた。今井さんは2017年に解散したロッテの売り子アイドルグループ「マリーンズカンパイガールズ」の元リーダー。昨年3月よりラミガールズへの期間限定で加入している。ロッテとラミゴの交流は盛んで、石垣島での交流戦は今回で4回目。今井さんがラミガールズとして石垣島遠征に参加したのは初めて。「たくさん覚える曲があるが今のところ順調」と話し、今年も頑張るつもりで活動していきたいと意気込んだ。なお試合中にも交流試合をロッテの本拠地ZOZOスタジアムで開催する。



今井さやかさん (写真提供: 自由時報)

Feb.11 縁結びの神様祭の廟、日本語対応のおみくじを提供

縁結びの神様「月下老人」を祭る廟として知られる台湾台南市の祀典天后宮はこのほど、英語と日本語の解説を併記したおみくじの提供を始めた。外国人観光客を呼び込もうと、台南市政府と廟が共同で作ったもの。市は台南を「愛に優しい都市」にしたいと意気込んでいる。台南には月下老人を祭る廟が点在しており、月老廟は良縁を求める男女が訪れる名所となっている。祀典天后宮は恋みくじを提供する数少ない廟の一つで、14日のバレンタインを前に台湾初の多言語対応おみくじを用意した。黄偉哲市長は外国人観光客を引き連れて参拝に訪れて恋みくじを引き、「多言語表記のおみくじがあると知れば外国人観光客はきっと喜んでくれるだろう」と期待を寄せた。



英語と日本語の恋みくじ (写真提供: 中央社)

Feb.11 台北MRT環状線の第1期区間が開業へ

建設中の台北メトロ(MRT)環状線が今年第4四半期(10～12月)にも開業する見通しであることが分かった。柯文哲台北市長がフェイスブックで明らかにした。昨年12月末時点で工事の進捗状況は97%に達しており、同市政府捷運工務局の王偉主任秘書によると、今年中頃に完工するという。環状線第1期区間は大坪林～新北產業園区(ともに新北市)間の15.4キロ。新北產業園区では桃園メトロ空港線に接続する。第2期区間は大坪林～木柵動物園間を結ぶ「南環区間」と新北產業園区～劍南路間の「北環区間」に分かれ、文湖線に接続して台北市と新北市を環状につなぐ。

Feb.18 台鉄の予約システムが刷新～4月全面移行

台湾鉄路管理局はインターネット予約システムを刷新した。新システムは携帯電話で予約、購入、発券が一度で行えるほか、座席選択も可能になる。台鉄担当者が明らかにした。利用者の利便性向上につながることを期待している。なお新システムへの全面移行は4月23日より。新システムでは、長距離区間の乗車券が完売した後、短区間に分割すると買える

空席を自動的に組み合わせて提示し、各区間の座席を表示する。分割購入の場合、各区間の座席は異なる可能性があるが、新システムでは手動でその都度各区間の予約購入をする手間が省ける。乗車券は電子チケットとして発券可能。なお台鉄は2月21日に新ウェブサイトを公開した。

Feb.19 日本統治時代の作家5作品をドラマ化

台湾客家テレビは、日本統治時代に活躍した作家「頼和」の文学作品5作品をドラマ化すると発表した。1920年代の知識層と農家の間の価値観の衝突を描き出し、視聴者に当時の台湾社会への理解を深めてもらうのが狙い。制作するのは「日據時代の十種生存法則」の「頼和」の「浪遊外紀」「檉仔仔」前編「蛇先生」の5作をつなぎ合わせた作品で、今年度のドラマ大作として放送する。毎話のオープニングではあらすじや登場人物を通じて頼の詩や散文、小説を盛り込み、各話の見どころを紹介する。なお放送開始予定は4月8日。動画投稿サイト「ユーチューブ」の客家テレビ公式チャンネルでも同時に公開される。



ドラマ写真 (写真提供: 中央社)

Feb.21 国家公園が切手の図案に

中華郵政は、豊かな海の生態系が形成されている「東沙環礁国家公園」の美しさを伝えるため、同公園の風情が楽しめる切手を発売した。1セット切手4枚組で、図柄には台湾初の純産高解像度地球観測衛星「福衛5号」(フォルモサット5号)が撮影した東沙の環礁やサンゴ礁、海草の藻場、東沙島の写真が使われている。額面はそれぞれ8台湾元、13元、15元、28元。切手の発行を前に、切手収集用品や切手の図柄が印刷されたハガキなど関連の商品が19日より販売された。同公園は南部・高雄市の南西約450キロに位置する東沙環礁の保護を目的に2007年に設立された台湾で7番目の国家公園。東沙環礁の西側には地勢が緩やかな東沙島があり、島内の潟湖(せきこ)や環礁周辺の浅海域に海草が群生している。



国家公園が切手の図案に (写真提供: 中央社)

Feb.22 台鉄が観光列車をリニューアル

台湾鉄路管理局は、改装を終えた観光列車の客車や食堂車、パーラーカー(一等車)などを披露した。台鉄の張政源局長は「座席のスペースが広くなり展望窓やカラオケ設備なども設置された」と紹介し、設備の改善が利用者の増加につながることに期待した。観光列車として利用する車両は計29両。使用開始から18年近くが経過したため昨年3月より約7900万台湾元を投じて改裝作業していた。これまでに15両が完成し、今年7月には全車両のリニューアルが完了する見通し。リニューアルされた車両はすでにインターネットの旅行予約サイトで販売される鉄道台湾一周ツアーに投入されているほか、8月からは一般の会社、団体からの貸し切り予約も受け付ける。展望窓が設置された観光列車の一部車両(写真提供: 中央社)



展望窓が設置された観光列車の一部車両(写真提供: 中央社)

Feb.22 2・28事件関係者が歴史記述の訂正要求

台湾で戦後起きた「2・28事件」の歴史記述を巡り、国民党政権の弾圧から市民を守ろうと立ち上がった高校生の武装組織「雄中自衛隊」のメンバーらが台北市内で、与党・民進党の許智傑立法委員(国会議員)に付き添われて記者会見を開き、同隊に関する歴史記述に事実と違う内容があると関係機関に訂正を求めた。雄中自衛隊は、南部・高雄市の「高雄第一中学校」(現高雄高校)の生徒を中心に、学校や市民の安全確保を目的として1947年3月初めに結成され、市民の鎮圧に乗り出した軍や警察に対抗した。台北市内の「2・28紀念館」などで見られる史料では、同隊が戦後中国大陸から台湾に移り住んだ「外省人」を保護したと記載されている。同隊の副隊長だった陳仁悲さんは当時高校2年生。会見では史料リリーダの一人と伝えられている人物が実際には隊員ではなかったと証言した。許氏も手元の資料を基に、同隊が外省人だけでなく、戦前から台湾で暮らす「本省人」も分け隔てなく守ろうとしていたことを指摘。事件の真相究明や冤罪被害者の名誉回復などがなされてきた過程で見落とされてしまった事実が他にも数多くあると訴えた。

Feb.22 旅行収入が過去最高を更新～日本人旅行者増が寄与

台湾中央銀行がこのほど、2018年第4四半期(10～12月)の国際収支統計を発表した。旅行収入は37億8800万米ドル(約419.2億円)で、1四半期として過去最高を更新した。同行は日本からの旅行者増やその消費額が高いことなどが寄与したと分析している。同四半期に台湾を訪れた日本人は前年同期より8.2%増加し、国際収支の一部で、旅行者が使うお金の出入りを示す旅行収支は6億8000万米ドル(約75.3億円)の赤字だったものの、赤字水準は2016年第4四半期以来の最低水準だった。同行幹部によると、クリスマス休暇を利用して台湾を訪れる欧米からの旅行者も第4四半期に集中するため、同時期は旅行収入増につながることも多い。また、海外へのモノ・サービス・投資の取引状況を示す経常収支は18億6500万米ドル(約2兆641億円)の黒字となり、前年同期比27.3%減だった。(写真提供: 自由時報)



台湾中央銀行 (写真提供: 自由時報)

Feb.23 台湾鉄道の駅弁がブランド確立へ

台湾鉄路管理局が駅弁「台鉄便当」のブランド化を目指していることが分かった。車内や駅以外の場所でも駅弁が買えるように、フランチャイズ展開を検討しているという。台鉄餐旅服務総所の黃士強総経理が明らかにした。品質と味を損なわないことが前提で、提携先や提携方式などについては未定。台鉄によると、駅弁の年間販売数が初めて1000万個を突破した2016年以降、3年連続で1000万個台を維持しており、2018年には過去最多の1058万個を達成した。看板商品は3種類の「排骨便当」(豚スペアリブ弁当)で売り上げの約9割を占める。現在、駅弁の製造工場は北部・台北、七堵(基隆市)、中部・台中、南部・高雄、東部・花蓮の計5カ所。黄氏によると、目下、台北により大きなセントラルキッチンを整備中で、年末に完了する予定。将来的には1日当たり3000個の供給量にする構え。

Feb.24 「習近平プーさん」の朱印が中国で批判浴びる

台湾のホラーゲームに登場する黄色いお札の朱印の文字が「くまのプーさん習近平」となっているとして、中国のインターネット上では「中国の習近平氏を侮辱している」「台湾独立支持のゲーム」などの批判の声が広がっている。同ゲームの中国の発行元は、台湾の開発元との提携を打ち切ると発表した。2月19日にリリースされた台湾のホラーゲーム「還願」。戒厳令下の台湾を題材にして注目を集めた「返校」を開発したレッド・キャンダル・ゲームズ(赤燭遊戲)の新作で、ゲームの実況プラットフォームで最大10万人の視聴者を集めるなど話題を呼んでいた。お札には「習近平小無頼記(習近平くまのプーさん)」と篆書(てんしょ)体で書かれた朱印が押され、人々のしるスラングと同じ発音の文字が並べられている。中国の交流サイト「微博(ウェイボー)」は同ゲームに関する投稿の検閲がすでに開始され、「#還願」のハッシュタグの削除、関連する投稿は閲覧不可となっている。社社は、フェイスブックに謝罪文を掲載し「制作過程で当時のネット用語を一時的な素材として使用することがよくある」とし、今回は手違いで削除されていたと説明した。また「攻撃や侮辱の意図はない」と釈明。21日にバージョンを更新し、指摘を受けた箇所について修正を行ったとしている。(元=ニュー台湾ドル)



黄色いお札の朱印 (写真提供: 中央社)

1年間の台湾インターンシップ生受入企業募集

グローバル化に対応した台湾人の人材を活用しませんか? ※社宅など不動産の協力が必要な場合、バックアップさせていただきます。

近年日本ではインバウンド事業が盛んとなり、グローバル化により外国人人材の需要が求められています。台湾には、将来性ある優秀な台湾学生が多く、その人材を活用する事で、グローバル化する日本社会に対応する事ができます。

臺灣新聞社では、台湾のインターンシップ生を必要とする企業様を募集し、グローバル人材の活用をサポートします。契約期限は1年間ですが、その後正社員雇用も可能です。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

臺灣新聞 お問い合わせ先
 03-5917-0045 〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4
 TAIWAN NEWS ◆ 東京発行 03-5917-0047 info@taiwannews.jp

台湾新聞

《台湾新聞》為民營媒體、非政府發行刊物、以中立立場報導所有台灣和日本最新資訊。所有新聞報導和新聞照片、非本公司同意、嚴禁轉載刊登。《台灣新聞》同時提供報導資料銷售服務、如個人、團體有需要、敬請多多利用並洽《台灣新聞》。此外、個人、僑社團體或企業有採訪需求、活動企劃、平面設計和廣告刊登等媒體服務、歡迎直接洽詢《台灣新聞》。

「台湾新聞」は民間企業運営による媒体です。政府の刊行物ではありません。あくまでも中立の立場より、台湾と日本の各種の最新情報を報道しています。本紙に掲載しているすべての報道内容及び写真は、当社の承諾を得ない転載などは禁止します。一方、台湾新聞は報道資料の販売などのサービスを提供しています。必要な個人及び企業、団体の皆様は当社へお問合せください。また、イベント企画、デザイン、レイアウト、広告掲載等のご依頼がございましたら、ぜひ当社にお問合せください。「台湾新聞」社は以下の有料サービスも提供しております。ご利用ください。

- 《台湾新聞》提供以下付費服務:
- 企業廣告配合、僑社活動採訪
 - 僑社團體網路部落格設計(包含台灣新聞採訪報導使用權費用)
 - 採訪照片提供
 - 企業網站設計服務
 - 企業廣告、華僑會社イベント取材
 - 華僑會社団体インターネットブログ設計(台湾新聞取材報道、使用費用権を含む)
 - 取材写真提供
 - 企業ホームページ設計サービス

欲合作企業、僑團請逕洽《台灣新聞》
03-5917-0045或info@taiwannews.jp



沖繩のおばあの一言

ドキュメンタリーのきっかけ 第三回



■文：林 雅行 (映画監督)

なぜ台湾に関心を持ったのか、台湾の映画の新作を作る度に質問される。私は大学進学で上京したのが1972年春、沖縄返還の時であった。1975年に初めて沖縄に行った。右側通行だった。その時、石垣島にも足を伸ばした。沖縄から、南西航空のYS11という飛行機に乗って島に行く。搭乗前に乗客は体重計に乗せられ、係員によって左右の重さが均等になるように右左の席に振り分けられた。1995年に会社を立ち上げてから平均年10回沖縄に行き、2004年に初めてのドキュメンタリー映画「友の碑——白梅学徒の沖縄戦」を製作した。太平洋戦争の沖縄戦で軍に動員された女学生たちの記録である。野戦病院に補助看護婦として勤務した15歳の少女たちは手術で切断された手足の廃棄や負傷兵士の自決用青酸カリ

の配布をした。野戦病院解散後は戦場を彷徨し、次々と命を落とすのであった。この作品の取材で元学徒隊の沖繩のおばあちと雑談になった時、沖繩の米軍基地の話題となった。彼女たちは、戦争で大きな犠牲をだした沖繩が戦後も基地負担を強いられるのは不当だと揃って言う。私も同感だが、1人のおばあがいった。「ヤマト(本土)はなぜ私たちと基地問題への温度差が違うのか。別のおばあがいう。「ウチナンチュ(沖縄人)にとってはヤマトより台湾の方が隣人なんだ。」

この時、恥ずかしいことに私は彼女のいう意味が判らなかつた。別の機会に沖繩で貿易会社を営む女性にこの話をすると「台湾は隣人どころか家族ですよ」という。聞くと彼女の姉が台湾人と結婚しているのだった。

私はそれまでほとんど台湾を意識したことがなかった。80年代後半から90年代は、ソ連のペレストロイカに始まり東欧の社会主義国が崩壊、ソ連も解体していった。その中でチェルノブイリ原発事故も発生するなど世界の目は東側諸国にきづけた。アジアといえば中国が文革の混乱から経済の改革開放へ舵をきり、新たな巨大市場へ世界が注視していた。香港の中国返還も話題となった。しかし、小さな国台湾への関心は薄かった。私はNHKの衛星放送の国際報道番組のスタッフの一員であったので、ソ連、東欧、中国で頭が一杯だった。世界の目と同じよう

に私の関心もそこに向いていた頃、台湾では戒厳令が解除され、民主化が進んでいた。だから、戒厳令と闘った台湾の人々のことなど知る由もなかった。でも沖繩のおばあちの「台湾は隣人、家族」の一言に触発された。台湾の日本統治時代には多くの沖繩人が移住し、沖繩人集落を作り、戦後も引き揚げることをない人がいたこと。逆に沖繩に渡ってきた台湾人もいたこと。沖繩の米軍統治時代には互いに「密貿易」をして扶け合ったことなど、苦しい時代を共に生きた沖繩と台湾の絆にやっとなついたのである。

その頃、NHK衛星放送でアジアの今を凝視する20分のドキュメンタリー枠があり、担当していた知人から声がかかった。さっそく沖繩の知人に連絡をとり相談したところ、台湾の貿易先の基隆にある大きな工場長が、基隆の町の隅々まで詳しいと聞いた。彼の家は代々基隆生まれだということ。私はすぐさまNHKに「基隆」を提案し話は進んだ。それは、基隆の夜市で花生猪脚(豚足の煮込み)を売る店主を主人公にした物語として作品になった。残念ながら私は企画をしてプロデューサーとして参加しただけで基隆取材に同行できなかった。番組によってはプロデューサーが同行する場合もあるが、基本的にはプロデューサーの職務は企画やスタッフ編成と予算管理、作品の品質管理だからである。また、複数の番組を兼務しているので仕方ない(悲)。うちのような小さな会社は「無駄な私」が海外取材に同行するなどでできない(更なる悲)。

ともあれ沖繩のおばあの一言が、私が台湾に目を向けるきっかけになったのである。

てくてく台湾旅 39

松田義人(deco/編集者・ライター)

盧山温泉に活気が戻ってきた!?

風前の灯のようだった 盧山温泉が……

台湾で好きな温泉は数多くありますが、特に僕がよく行くのが南投の盧山温泉です。

台湾をレンタカーで巡っていると、南部から北部へ1日で行き来するのはちょっと過酷ですので、途中台中あたりで食事、買い物などをして、その日は南投まで行き、盧山温泉で休憩も含めて1泊……というのが合理的だからです。

盧山温泉はかつて台湾で巻き起こった温泉ブームの火付け役とも言われたのですが、ここ数年は、その面影はなく客足はとて少なく、この好立地に反してホテルが安いというのも、僕にとっては魅力的でした。

なんでも度重なる水害で山崩れに巻き込まれる恐れがあると、政府より廃止が決まっているという噂を聞きます。これも客足が遠のいている理由かもしれませんが、僕はこの山の中で、静かに疲れを癒してくれる今の盧山温泉が大好きでした。

先日も、いつも通り盧山温泉に行くことにしたのですが、目当てのホテルへ辿り着くと、あのド派手な台湾の観光バスが何台も停まっており、ガイドさんのマイクによるデカイアナウンスとともに、大勢の観光客でゴック返していました。

何があったのでしょうか。いつもは閑散としていた盧山温泉なのに、観光客が大挙として訪れているようです。しかし、それは目当てのホテル周辺だけでなく、川の向かいにあるホテルなども同様で、遠くから観光客の賑やかな声が聞こえてきます。大勢の観光客が話している言葉は台語で、見た目も雰囲気もやっぱり台湾人。台湾人の団体観光客が盧山温泉に旅行に来ているようでした。

この賑やかさは楽しくて良いのですが、ここでマズかったのがホテルの空室問題です。いつもは予約なしでその場で交渉して、部屋を取っていたので、これだけ大勢の観光客が訪れているとなると、部屋がない可能性があります。いつものホテルの駐車場の係のオジサンに尋ねると、案の定「今日は正規の空き部屋がない」と言います。でも、オジサンは柔軟で「従業員用の部屋で良いなら、安く泊まれるようにしてあげる」と言ってくれ、通常の半額で部屋を用意してくれました。

カラオケスペースの脇の部屋にて

オジサンの案内で、従業員用の部屋に泊まらせてもらうことになったわけですが、そこは巨大なカラオケスペースの真横にありました。一瞬「カラオケ……?」とイヤな予感がよぎりましたが、まだ明るい時間で誰もおらず、それほど深刻に考えず部屋に入りました。

荷物を置き、別棟の温泉スペースに行き、しっかり湯船に浸かって疲れた体を癒した後、ビールを飲みながら小さな街を散策することにしました。

しかし、先ほどの団体観光客の皆さんが盧山温泉の吊り橋にいます。吊り橋はブランブラン揺れて恐いわ、記念撮影ラッシュでなかなか前に進めないわで、普段の盧山温泉とはまるで違う光景を目にしました。

さらに、夕飯を取ろうと思っていた、行きつけのレストランは行列が出来ており、これもダメ。仕方なく、手持ちのカップラーメンで部屋で食事を取って眠ることにしました。

が、ここからがさらに大変。先ほどのカラオケスペースの予感を見事的中し、僕がベッドに潜り込んだ後、団体観光客の大カラオケ大会が始まりました。熱唱する人だけでなく、聴く側の人も大騒ぎ。さらに彼らにとってのトイレは、僕の部屋の真横にあるらしく、行ったり来たりする度に、酔っているのか壁にバンバン当たってきて、まったく眠ることが出来ませんでした。

ただ、これも何故か不思議とイヤではなく、いちいち笑ってしまうほどでした。普段は僕も、どこかで酔っぱらって、誰かに迷惑をかけてしまっているのと同じかも……と思うことと、どうも皆さんが楽しそうで、憎めない感じがあったからです。

それにしても、盧山温泉の過剰な観光客の増加はいつの日か危ないなんでしょう。たまたまこの日だけ、という感じではなかったように感じました。盧山温泉は大好きな場所なので、廃止と言わず、この賑やかな活気で、なんとか持ちこたえて欲しいと思うのですが……。



翌朝、カラオケスペースで見た惨劇の跡

Photo de TAIWAN 第二十七回

台湾在住20年写真家 熊谷俊之



撮影日時：2012年2月

嘉義 阿里山の桜と鉄道

意外に思われるかもしれませんが、実は台湾でも東部の太麻里、中部の武陵農場、南部の霧台、北部の天元宮など全国各地に桜の名所があります。今回ご紹介するのは阿里山鉄道で有名な嘉義県の阿里山で、ここでは色が鮮やかなカンヒザクラのほか、ソメイヨシノを含む多種類の桜

が愛でることができます。ただその時期はやはり観光客も普段より多く宿も取りにくいと思いますので、もしお越しのご予定があれば早目の予約をおすすめします。

※写真で台湾を伝えるコーナー「Photo de TAIWAN」では、台湾在住20年の日本人写真家・熊谷さんの写真を通じて、まだ知らない台湾をお届けします!

日本法律停・看・聴

什麼是納稅管理人

(本專欄內容由黑澤事務所提供)

1. 什麼是納稅管理人

所謂的納稅管理人，簡單的說在日本沒有住所為了處理向国税地方稅提交申報書等為目的而被選任的人。比如，工作調動、移居等原因納稅人居住海外，在日本沒有住所時就需要選任納稅管理人。納稅管理人會代替納稅人向日本稅務署提交稅務申報，與稅務署聯絡等。

選任納稅管理人時，有必要提交納稅管理人委託申請書。納稅人委託申請書，是日本居住者因移居海外等理由而使納稅不能順利完成時，有必要向稅務署申請選任納稅管理人。

2. 什麼情況下需要選任納稅管理人

下面就向大家介紹幾個有代表性需要選任納稅管理人的情況

(1) 因居住海外在日本沒有住所

日本的税金原則上是以居住在日本的「居住者」為對象。生活據點移到海外所得稅法上稱作「非居住者」，「非居住者」也有義務對在日本國內發生的所得進行稅務申報及納稅等。不只是移居海外的日本人，在日本國內有收入的外國人(日本非居住者)也該當此項。

(2) 居住海外，有義務繳納遺產稅，贈與稅時

日本非居住者，繼承父母財產，或接受父母贈與等時，不滿足父母和子女雙方在海外居住5年以上等條件時，會產生遺產稅，贈與稅的納稅義務。

(3) 居住海外，有義務繳納住民稅，固定資產稅時

每年1月1日住所所在日本的居住者，有義務繳納住民稅。另外，關於固定資產稅・都市計劃稅，不論是法人還是個人，1月1日不動產名義人有納稅義務。像這些地方稅即使是非居住者也會被課稅，與國內居住者同樣，移居海外的日本人，在日本國內有不動產的外國人也有納稅義務。

【不提交納稅管理人申請會有什麼樣的後果】

沒有納稅管理人申請，則無法發送納稅通知書。這種情況下，有可能會公告發送。公告發送後，如果還沒有在納稅期限內納稅，會被發送督促狀，並被加算遲納金。因此，一定要按照規定提交納稅管理人申請。

(本文作者：吉田浩之 黑澤事務所所長)

相続・贈与・登記・国際稅務

黒澤合同事務所グループ

1972年創業

<p>【司法書士】</p> <p>不動産登記、会社登記</p>	<p>【土地家屋調査士・測量士】</p> <p>房屋新建・拆除、土地分劃・合併、測量全般</p>	<p>【公認会計士】</p> <p>事業計画・股價估算、向外資企業提供各項服務的國際業務</p>
---------------------------------	--	--

東京都中野区中野4-4-11

kurosawa@kurosawa.gr.jp
http://www.kurosawa.gr.jp

大代表: 03-3388-9638
中文服務專線: 03-3388-2520 (王)

無量壽佛 2019年【己亥年】

慶祝新年春節、2019年【己亥年】 歡迎安奉太歲燈・光明燈

每月農曆初一、十五日收驚、消災、解厄 (免費)

本宮為服務廣大信眾，請準備有領、有袖子淡色上衣、黑色的不可。由本人親自帶回純陽宮恭請神仙佛聖賢菩薩作主化解。(一家族的上衣可以一人代表帶回)

如果無法親自來本宮就不收件。

本宮備有接送車輛，有需要者，請在前一天事先聯絡。JR成田空港駅第二航廈出口35號對面

〒289-0216千葉県香取郡神崎町植房950-1
TEL:0478-72-1068或1899 FAX:0478-72-1089
董事長 玄駿 興建會長 玄胡明信

宗教法人 日本大道院純陽宮

交通アクセス

- JR成田線「下総神崎駅」からタクシー5分
- 東関東自動車道「大栄インター」→国道51号成田方面二丁目信号右折神崎方面→県道110号→「純陽宮看板」左折
- 国道356号→信号「神崎大橋」より旧国道356号へ→信号「郡駐在所横」右折→「純陽宮看板」右折

▼遊客可乘著獨木舟，欣賞龍神峽的壯景



想深入日本美麗秘境？常陸太田值得一試

【茨城／採訪報導】提到茨城縣的常陸太田市，對水戶黃門有了解的民眾，都會聯想到他晚年隱居在西山御殿，但常陸太田市還有許多令人著迷的風景和各式各樣的活動，其中以龍神峽最為著名，不但是賞楓的秘密聖地，還能從龍神峽的獨木舟體驗和龍神大吊橋上欣賞到四季不同的美景。而常陸太田市也有豐富的美食，每年都會在JR常陸太田駅前廣場前舉辦「常陸太田汁ONEカップ」活動，讓所有民眾票選出常陸太田最好喝的「汁物」。

龍神峽是位於茨城縣常陸太田市郊區的一個呈V字型的美麗峽谷，由龍神川侵蝕古老的原始森林而成，彷彿一條龍綿延在山林中，近年來常陸太田市積極推廣龍神峽的獨木舟體驗，遊客可以乘著獨木舟在龍神水庫上，欣賞水色碧綠、山景青翠的龍神峽絕景，同時也提供裝備和獨木舟，以及專門的划舟指導，再加上平穩的水流，對獨木舟的初心者是最適合不過。

另外還有一條長約375米，高100米的龍神大橋橫跨在龍神水庫上，是日本本州島最長的步行者專用橋，也會隨著季節的變化，舉辦各式各樣的活動，十一月配合楓葉舉辦的紅葉祭等，一年四季都有著不同的色彩，

每次都能給遊客帶來驚艷，不僅能在橋上將龍神峽的遠山近水一收眼底，還可以挑戰日本最高的高空彈跳。

除了美景外，常陸太田的美食也是令人津津樂道，特別是「汁物」，是日本料理中湯的總稱，使用已調味的湯加上配料，像是用麵或調味味噌湯、或油調味湯和用鹽調味等不同種類的汁物，因此日本汁物的味道一般較濃，逐步發展至今，汁物已是五花八門，比較普遍的一種日本料理。

常陸太田市每年都會在JR常陸太田駅前廣場前舉辦「常陸太田汁ONEカップ」活動，集結16家特色的汁物，且一定要用到當地的食材製作，讓路過的民眾投票選出最好喝的汁物，今年由「鈴屋」的「富山のかにかニ鍋」獲得民眾票選第一名，另外活動現場還販賣各式各樣的美食，彷彿熱鬧的祭典，常陸太田市大久保太一市長也特別對台灣遊客表示，有機會造訪常陸太田的話，務必參加票選活動，品嚐看看汁物。

常陸太田市商工觀光部小瀧孝男部長提到，當初因為想在寒冷的冬天讓大家喝到溫暖的汁物，才舉辦「常陸太田汁ONEカップ」活動，今年票選活動已經邁入第八屆，明年如果有機會的話，希望台灣的汁物也能



常陸太田特色休息站「道の駅ひたちおた」一起參戰。而現場參加活動的台灣遊客也非常推薦大家一定要來嘗試看看，因為能一次喝到多種日本好吃的汁物。

如果想在常陸太田市買伴手禮回家送給親朋好友，「道の駅ひたちおた」（常陸太田市道路休息站）是不少人的首選，不只是單純的道路休息站，各種特產伴手禮、超市、餐飲應有盡有，販售各種常陸太田的特色商品、土產等，像是常陸太田的幸運物—擬人化的丹頂鶴、當地釀的日本酒，以及許多常陸太田市出產的水果等。

- 常陸太田市 HP <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>
- 龍神大吊橋 HP <https://ohtsuribashi.ryujinkyu.jp/>
- 龍神パンジー HP <http://www.bungy-japan.com/ryujin/>
- 龍神アウトドアフィールド(カヌーなど) <http://www.kanko-hitachiota.com/page/page001003.html>
- 道の駅ひたちおた HP <http://www.hitachiota-michinoeki.jp/page/dir000002.html>
- (一社)常陸太田市觀光物産協会 HP <http://www.kanko-hitachiota.com/index.html>



常陸太田的幸運物—擬人化的丹頂鶴



常陸太田市每年都會舉辦「常陸太田汁ONEカップ」活動，讓民眾票選出最好喝的汁物

彭坤炎獲日本漆工三大賞 台灣史上第一人大滿貫

【東京／採訪報導】第二十六屆日本漆之美展於二月七日在明治神宮舉辦頒獎典禮和懇親會，來自新竹漆藝大師彭坤炎的作品「潮音」深受評審喜愛，榮獲「農林水產大臣賞」，而加上這次的獎項，彭坤炎已經拿下日本漆工協會的所有大獎，可謂是漆藝界的台灣之光，台灣文化中心主任王淑芳也受邀出席見證。

漆之美展是日本漆工協會每年舉辦的全國性活動，並組成評審團從中選拔優秀的作品，以及對漆藝發展有貢獻的傑出漆藝家授予功勞獎，其中「林野廳長官賞」、「農林水產大臣賞」和「文部科學大臣賞」是日本的三項大獎，彭坤炎分別於2011年和2017年拿下「林野廳長官賞」及「文部科學大臣賞」，在去年十一月的第二十六屆漆之美展結束後，彭坤炎的作品榮獲多位評審委員的肯定，成功拿下最後一項大獎「農林水產大臣賞」，是台灣第一個拿過三大獎的漆藝家。

彭坤炎表示，漆藝在中華文化中有悠久的歷史，不過近年來在中國未受重視形成斷層，台灣還在起步中，而日本雖然深受中華文化影響，從接受到唐朝文化後，就一直保持一千多年到現在，包括書道、陶藝等都是，但現在的技藝已經能超越中國文化，且持續精進，像在大專院校都能看到有漆工科等。

彭坤炎提到，日本漆工協會有好幾十年的歷史，非常重視漆藝文化，不僅保護、傳承，也安排內閣長官給功勞和優秀的創作獎項，而能來這裡與他們一起展出，甚至從講究文化的日本手中獲獎，且沒頒給過外國人，讓他自己覺得真的不容易，也感到更加光榮。

他說，能得獎不是一步登天，是前輩的介紹才開始與日本漆工界接觸，以及二十幾年來持續參加協會和送作品展出，一步從新人獎開始爬上來，能得到這項榮譽，也代表著他已經不被當作外國人，而

是與日本漆藝家並駕齊驅，更能做好國民外交、文化交流。

彭坤炎的作品「潮音」主要材料天然生漆，技法則是運用堆漆創作，作品造型成橢圓形狀，上端像是海浪拍擊擱起的浪頭，凹深處則是多層色漆經研磨後，呈現出繽紛的色彩，代表海洋豐富的景色，造型主要施於金屬箔作多層次處理，如傍晚夕陽映照浪潮拍擊發出聲響的光景，將彭坤炎對故鄉新竹海邊留有深厚的情懷，透過海的景色用手作表現出來。

彭坤炎作品曾獲邀遠歐洲、澳洲、美洲等國展出，在國內連續獲得台灣省美展、二次銀牌獎、一次大會獎、民族工藝獎、國家工藝獎、台灣工藝之家、文化部無形文化資產堆漆技藝保存登錄等殊榮。在國外則是於金澤舉辦之世界工藝競賽獲得入選、日本クラフト展入選。特別連續二十幾年獲得日本漆工協會的邀請展出於日本東京明治神宮舉辦之「漆之美展」。2006年還曾獲得日本皇室親王桂宮宣仁殿下觀禮獲頒「日本漆工協會會長賞」並獲接見與嘉許。



台灣文化中心主任王淑芳到場見證



參與活動眾人於明治神宮前合影

DAISANGEN

未来を共に創造する

買賣 · 出租 · 管理

大三元在日本國內與海外都有強大的投資管道。配合顧客的要求，提供打造全程的服務

株式会社 大三元
☎ 171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4
☎ 03-5917-0727
☎ 03-5917-0047
☎ 08030136399
✉ info@dsgl40613.com
www.dsgl40613.com

【買賣】区分収益マンション

GENOVIA 新宿御苑 green veil 10階部分

1K 水天宮駅 徒歩5分 茅場町駅 徒歩5分

3,500 万円 表面利回り 3.51%

・住所: 東京都新宿区四谷 4-30-21
 ・現行賃料: 302,425円/月(サブリース)
 ・年間現行賃料収入: 1,229,100円
 ・現況: 賃貸中
 ・建物構造: RC造 地上14階建て
 ・築年月: 平成26年9月
 ・総戸数: 77戸
 ・所在階: 10階
 ・専有面積: 25.66㎡(7.76坪)
 ・間取り: 1K
 ・管理費: 6,200円/月
 ・修繕積立金: 1,000円/月
 ・土地権利: 所有権
 ・管理形態: 全部委託
 ・取引態様: 仲介

【買賣】区分収益マンション

トップ目白101号室

原山手駅 徒歩14分 東武東上線 雑司が谷駅 徒歩5分

970 万円 表面利回り 6.80%

・住所: 東京都豊島区雑司が谷 2-9-27
 ・現行賃料: 55,000円/月
 ・年間現行賃料収入: 660,000円
 ・現況: 賃貸中
 ・建物構造: RC造 地上4階建て
 ・築年月: 昭和59年8月
 ・総戸数: 26戸・所在階: 1階
 ・専有面積: 14.60㎡(4.41坪)
 ・間取り: ワンルーム
 ・管理費: 9,000円/月
 ・修繕積立金: 3,700円/月
 ・土地権利: 所有権
 ・管理形態: 全部委託
 ・備考: 一住居専用、ペット飼育不可、引渡日: 相談、取引態様: 仲介

【賃貸】貸マンション(普通賃貸借)

フェニックス西川口 女性用シェアハウス

JR常磐東線 西川口駅 徒歩3分

・現況: 空室
 ・住所: 埼玉県西川口市西川口 1-78-16
 ・建物構造: 鉄骨造 地上5階建て
 ・所在階: 4階、5階
 ・賃貸面積: 5.84~6.57㎡(専有部別)
 ・間取り: ワンルーム
 ・賃料: 40,000円/月(管理費なし)
 ・礼金: なし・敷金: 1ヶ月
 ・保証会社加入必要(賃料60%)
 ・借家人賠償保険加入必要(8,000円/月)
 ・備考: 24時間有線テレビ、バス、トイレ別、浴室共用、システムキッチン(IHヒーター)、洗濯機共用、冷蔵庫共用、デジタルドアロック、二重ロック、各部屋専有テレビ、エアコン、照明有り、廊下有り
 ・取引態様: 貸主

【賃貸】貸事務所(普通賃貸借)

カーニーブレイス新御徒町 801号室

原山手駅 徒歩8分 東武東上線 新御徒町駅 徒歩1分

・現況: 空室
 ・住所: 東京都台東区東上野 1-2-13
 ・建物構造: SRC造 地上8階地下1階建て
 ・所在階: 8階
 ・賃貸面積: 179.97㎡(54.44坪)
 ・賃料: 792,000円/月(共益費別)
 ・礼金: 1ヶ月・敷金: 8ヶ月
 ・保証会社利用可、借家人賠償保険加入必要
 ・更新料: 1ヶ月・取引態様: 仲介

【買賣】区分収益マンション

ネオハイシティ南大塚 102号室

原山手駅 大塚駅 徒歩7分

950 万円 表面利回り 6.94%

・住所: 東京都豊島区南大塚 1-39-6
 ・現行賃料: 55,000円/月(管理費込み)
 ・年間現行賃料収入: 660,000円
 ・現況: 賃貸中
 ・建物構造: RC造 地上5階建て
 ・築年月: 昭和58年1月
 ・総戸数: 35戸・所在階: 1階
 ・専有面積: 16.62㎡(5.02坪)
 ・間取り: ワンルーム
 ・管理費: 6,000円/月
 ・修繕積立金: 4,000円/月
 ・土地権利: 所有権
 ・管理形態: 自主管理
 ・備考: エレベーター有り、コインランドリー有り
 ・引渡日: 相談
 ・取引態様: 仲介

【買賣】区分収益事務所タイプ

パークノヴァ横浜参番館 1階部分

原山手駅 徒歩8分 新高島駅 徒歩3分

1,090 万円 表面利回り 7.49%

・住所: 神奈川県横浜市西区平沼 1-1-13
 ・現況: 63,000円/月(税別)募集中
 ・建物構造: SRC造 地上12階建て
 ・築年月: 平成27年2月
 ・総戸数: 121戸・所在階: 1階
 ・専有面積: 17.79㎡(5.38坪)
 ・間取り: ワンルーム
 ・管理費: 5,920円/月
 ・修繕積立金: 1,810円/月
 ・土地権利: 所有権
 ・管理形態: 全部委託
 ・備考: オートロック
 ・引渡日: 相談
 ・取引態様: 仲介

【賃貸】貸マンション(普通賃貸借)

ライオンズマンション大山 303号室

2Lok 東武東上線 大山駅 徒歩7分

・現況: 3月末退去(二人入居可)
 ・住所: 東京都板橋区大山金井町 12-11
 ・建物構造: 鉄骨造 地上5階建て
 ・所在階: 3階
 ・間取り: 2Lok
 ・賃貸面積: 41.06㎡(12.42坪)
 ・賃料: 98,000円/月
 ・礼金: 1ヶ月・敷金: 1ヶ月
 ・保証会社加入必要
 ・借家人賠償保険加入必要
 ・備考: バス、トイレ別、ガスキッチン、室内洗濯機置場、エレベーター
 ・取引態様: 媒介

【賃貸】貸マンション(普通賃貸借)

大山ダイヤモンドマンション 403号室

2Ok 東武東上線 下板橋駅 徒歩8分

・現況: 空室(二人入居可)
 ・住所: 東京都板橋区大山金井町 6-6
 ・建物構造: 鉄骨造 地上10階建て
 ・所在階: 4階
 ・賃貸面積: 34.65㎡(10.48坪)
 ・賃料: 89,000円/月
 ・保証会社加入必要、借家人賠償保険加入必要
 ・備考: バス、トイレ別、ガスキッチン、洗濯機置場、駐輪場、エレベーター
 ・間取り: 2Ok
 ・礼金: 1ヶ月
 ・敷金: 1ヶ月
 ・取引態様: 媒介



文化講座・展覧活動資訊

諸事大吉 - 2019己亥年畫特展

地點: 台湾文化センター
時間: 2/12~3/25

アジア映画ブックフェア

地點: 梅田・MARUZEN & ジュンク堂書店
梅田店5階 芸術書フロア
時間: 2/16~3/30

大阪アジア映画祭ポスター展

地點: あべのキューズモール 地下1Fサーティーワ
ンアイスクリーム前
時間: 3/1~3/7

FOODEX JAPAN / 国際食品・飲料展

地點: 幕張メッセ 展示ホール 1~9
時間: 3/5~3/8

LIGHTING FAIR 2019

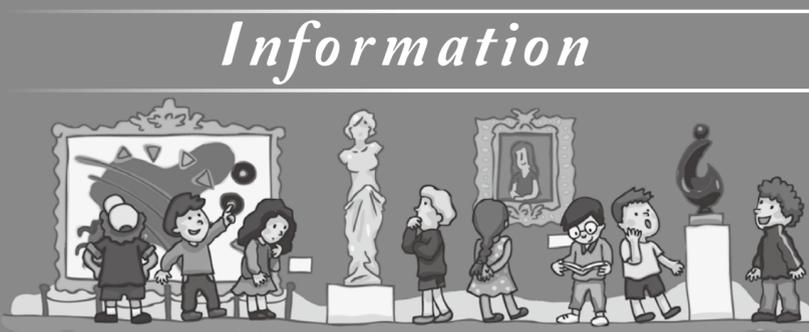
地點: 東京ビッグサイト
時間: 3/5~3/8

嘉義市檜木焼烙作品展

地點: 東京佛光山寺
時間: 3/5~3/8

台湾情勢セミナー~米中貿易戦争と日台経済貿易関係~

地點: ベルサール六本木グランドコンファレンスセンター
時間: 3/7



Information

第14回大阪アジア映画祭「台湾: 電影ルネッサンス2019」

地點: ABCホール(福島・ほたるまち[朝日放送社屋内])、阪急うめだホール
時間: 3/8~3/17

ふるさとの春まつり

地點: 日本橋公會堂 時間: 3/11~3/12

第17回国際オートアフターマーケットE XPO 2019

地點: 東京ビッグサイト
時間: 3/13~3/15

台湾修学旅行セミナー

地點: 台湾文化センター 時間: 3/14

台湾知財セミナー~台湾知財の未来展望と営業秘密保護の実務

地點: ホテルオークラ東京 2階 メイプルルーム
時間: 3/19

第16回日台文化交流 青少年スカラシップ 授賞式・懇親会

地點: 大手町サンケイプラザ(大手町サンケイプラザ)
時間: 3/19

2019 台湾ポート産業セミナー

東京ステーションホテル 陽光 時間: 4/12

台湾フィルハーモニック

地點: 東京文化会館 時間: 4/30

台湾フィルハーモニック

地點: ザ・シンフォニーホール 時間: 5/6

全日本台湾祭り & 華僑イベントスケジュール

日本華商總會新年會

地點: アルカディア市ヶ谷
時間: 3/5

横濱中華學院107學年度畢業典禮

地點: 神奈川県民ホール
時間: 3/19

国際婦人デー祝賀懇親会

地點: 目黒雅叙園
時間: 3/6

台湾フェスティバルTOKYO 2019

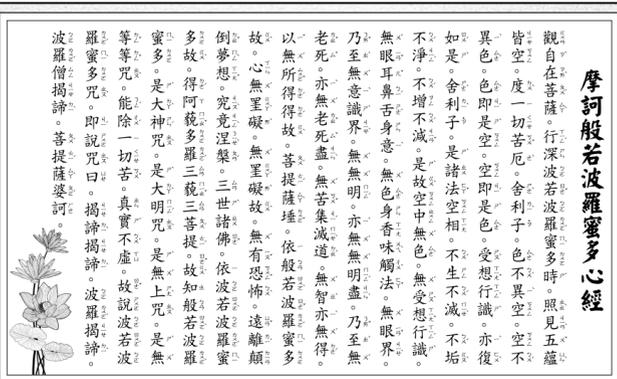
地點: 上野恩賜公園噴水廣場
時間: 6/20~6/23

東京中華學校107學年度畢業典禮

地點: 東京中華學校
時間: 3/16

台湾フェスタ2019

地點: 代代木公園廣場
時間: 7/27~7/28



摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩。行深波若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。受想行識。亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色身香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無明。亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多咒。即說咒曰。揭諦揭諦。波羅揭諦。波羅揭諦。菩提薩埵訶。



台南高雄~屏東&南台湾の町

本書はダイヤモンド・ビッグ社の人気シリーズ「地球の歩き方」書籍(D13)2019~20年版の台南 高雄(屏東&南台湾の町)の地域に絞ったガイドブックである。同社のこのシリーズのガイドブックの特徴は、何と云ってもわかりやすいページレイアウトとその構成内容だ。統一されたフォーマットによる紙面は、それぞれ地域ごとの詳細な情報が的確に網羅されている。全ページオールカラー版で写真もふんだんに取り入れられている。本書を見るだけでリアルに旅行した気分を味わえるが、この本片手に本当に旅行したくなる。それこそがこれまでシリーズ化した旅書籍を刊行している同社の真骨頂でもある。地球の歩き方編集部による構成で、本書は台南と高雄を代表する10の地域が特集1から10までの項目としてまとめられ、紹介されている。巻頭には、紹介地域の目玉が解説され、地域の地図を表記しながら「南台湾早わか

刊: ダイヤモンド・ビッグ社
編集: 地球の歩き方編集部
金子久美
サイズ: A5判変形
発売: 2019年2月6日初版発行
頁: 272頁
価格: 1500円+税

台湾新聞263号 読者プレゼント
応募券

読者プレゼント企画
台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様に本書「台南 高雄~屏東&南台湾の町」をプレゼント致します! 応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(3月中に発送予定)。締切り: 3月15日(消印有効) 株式会社台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分
嘉南旅行社
東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員
台北 ¥27,000(税別) 北京 ¥30,000(税別) 上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別) 韓国 ¥27,000(税別) 越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別) 曼谷 ¥32,000(税別) 新加坡 ¥32,000(税別)
●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實
精通國、臺、日語服務親切 ※銀行匯款口座
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店 (普)3678888 (名義)嘉南觀光(株)
營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

東京こころ日本語学校
Tokyo Kokoro Japanese Language School
台灣人經營・絕對放心・生活/宿舍/升學輔導 0 障礙
~4月・1年コース/10月・1.5年コース熱烈招生中~
☆台灣學生特別優惠價☆ 歡迎詢問陳小姐
(Email: tzingchen110@gmail.com / LineID: tzingchen110)
〒174-0071 東京都板橋区常盤台3-25-2(上板橋駅徒歩10分)

収益ビル	目黒	収益ビル	高井戸	収益マンション	水川台	空ビル	秋葉原
価格: 56,000万円		価格: 51,800万円		価格: 32,800万円		価格: 20,000万円	
所在地: 東京都目黒区五本木 交通: 東急東横線「学芸大学」駅徒歩5分 土地: 376.00㎡ (113.74坪) 建物: 1,125.31㎡ (340.40坪) 築年数: 平成3年1月 (所有権) 利回り: 7.01%		所在地: 東京都杉並区高井戸 交通: 京王井の頭線「高井戸」駅徒歩11分 土地: 506.07㎡ (153.08坪) 建物: 1,507.50㎡ (456.01坪) 満室 築年数: 平成3年5月 (所有権) 利回り: 5.83%		所在地: 東京都練馬区水川台 交通: 東京メトロ副都心 有楽町線「水川台」駅徒歩2分 土地: 274.38㎡ (82.99坪) 建物: 770.69㎡ (233.13坪) 満室 築年数: 平成4年1月 (所有権) 利回り: 6.24%		所在地: 東京都千代田区神田 交通: 東京メトロ日比谷線「秋葉原」駅徒歩4分 JR「秋葉原」駅徒歩6分 土地: 69.94㎡ (21.15坪) 建物: 286.59㎡ (111.15坪) 築年数: 昭和43年6月 (所有権) 利回り: -	

▽呂秀蓮前副總統(前排右2)及駐那霸辦事處范振國處長(後排右4)一行拜會沖繩縣副知事富川盛武(前排右3)



呂前副總統訪沖繩

盼推動台日韓菲組東亞和平同盟

【沖繩／綜合報導】前副總統呂秀蓮於二月五日至七日前往沖繩交流訪問，在駐那霸辦事處處長范振國的陪同下，分別拜會沖繩縣副知事富川盛武、南城市市長瑞慶覽長敏、豐見城市市長山川仁、琉球台灣商工協會名譽會長新垣旬子，以及出席琉球華僑總會舉辦的歡迎晚宴，並參觀「台灣之塔」及沖繩媽祖廟建設預定地。

呂前副總統在歡迎晚宴時表示，會積極推動由台灣、日本、韓國及菲律賓組成的維護東亞和平同盟，因此預定於今年五月在台北市召開第三屆「東亞和平論壇」，屆時也會邀請沖繩縣地方自治體首長赴台共襄盛舉。她也指出，台沖同樣擁有海洋文化，雙方應合作保護海洋資源，並建議共同合作將海鮮美食文化推向國際。

呂前副總統提到，台灣和沖繩的先民都是源於南島語系民族，過去在二戰中也都經歷戰火摧殘，雙方可以在此共同基礎上成為向全球傳遞和平理想的夥伴。而媽祖為華人共同信仰的神祇，象徵慈悲、正義，被尊奉為「海洋之神」，如果能在同樣具有海洋文化的沖繩興建媽祖廟，除具有祈求海上和平意義外，相信能成為招攬全球華人造訪沖繩的誘因，為沖繩帶來觀光商機。



呂秀蓮前副總統(前排右3)出席琉球華僑總會舉辦之歡迎晚宴與會長張本光輝(前排右5)、駐那霸辦事處處長范振國處長(前排右1)及那霸日臺親善協會會長伊藝美智子(前排右2)等出席人士合影



呂秀蓮前副總統(右6)及駐那霸辦事處處長范振國處長(右4)一行拜會豐見城市市長山川仁(右5)



呂秀蓮前副總統(前排右2)及駐那霸辦事處處長范振國處長(前排左2)一行拜會南城市市長瑞慶覽長敏(前排右3)

香川知事濱田惠造訪桃園燈節

盼深化雙方交流



【桃園／綜合報導】2019年桃園燈會於二月十二日登場，日本香川縣知事濱田惠造、議長花崎光弘專程來台參加開幕點燈儀式，並邀請市長鄭文燦參加四月二十六日的「瀨戶內國際藝術祭」，鄭文燦除了允諾派員參加，也提到正積極爭取明年「台日觀光高峰論壇」在桃園舉辦。

過去桃園武陵高中與香川青少年管弦樂團過去已有十年的交流，鄭文燦也曾率領市府團隊參加「瀨戶內國際藝術祭」，香川縣知事濱田惠造也曾受邀參加「2017桃園燈會」，後來雙方於2015年締結友好城市市後，在文化、藝術、教育等各方面都有進一步的交流。

范振國處長那霸商工會議所演講

分析台日、台沖經貿交流

據、相互投資狀況、雙方產業互補關係、台日企業合作優勢及成功案例，另外也說明台灣「5+2」產業創新計畫、前瞻基礎建設計畫等相關內容及預期效益。

范處長指出，近年來台灣積極推動「新南向政策」，分散對中國市場過度依賴風險，已經有不少成效，而他提醒沖繩經濟不能僅靠觀光業支撐，必須儘速發展製造業等二次產業，降低產業循環及景氣風險，日本企業可以考慮攜手與台灣企業經營東南亞及南亞市場，台灣會是最佳最可靠的合作伙伴。

【那霸／綜合報導】駐那霸辦事處處長范振國處長於二月二十二日應那霸商工會議所女性部邀請，以台日、台沖經貿的交流現況為題演講，詳細分析台灣的經濟和台日交流現況等，並提醒沖繩不能只靠觀光支撐，還需要二次產業做預備，現場共吸引將近二十餘家那霸市企業負責人出席。

范振國處長分別向沖繩企業說明台灣的經濟結構、特徵、主要產業鏈、具國際競爭力產品及租稅環境，還有台日經貿的交流數

香川縣知事濱田惠造表示，桃園市與香川縣締結為姊妹友好城市，在音樂、體育、教育及產業等多方面進行交流，香川縣素來以讚岐烏龍麵聞名，有「烏龍麵縣」的美稱，也因有許多知名藝術品，而有「藝術縣」的稱呼。

濱田知事也提到，今年四月香川縣即將舉辦每三年一度的「瀨戶內國際藝術祭」，他邀請桃園市民踴躍參加藝術祭，感受香川縣的魅力，而歷年台灣遊客占國外旅客中第一多，顯見台日關係相當友好。

香川縣議會議長花崎光弘表示，桃園市與香川縣於106年七月締結「桃園市與香川縣交流協定」，包括政府、企業、學生及居民等各方面都有進行交流。香川縣被享有「世界寶石」美譽的瀨戶內海所環繞，今年香川縣也將以瀨戶內海為舞台舉辦「瀨戶內國際藝術祭」，邀請台灣作家參展，進一步加深桃園市與香川縣之間的友誼。



市長與貴賓一起為燈會揭幕

范處長也特別提到，最近中國持續強化對台灣的政治施壓，尤其習近平在年初「告台灣同胞書」四十周年紀念典禮中，提出強制台灣接受「一國兩制」、不放棄對台灣行使武力，以及否定台灣政府合法性，而台灣政府也已經公開回應，會堅守台灣的民主自由，決不在中國威脅下妥協。



演講會後全體合影

東電訪台南市府

黃偉哲允諾全力促成綠電發展

【台南／綜合報導】日本東京電力公司海外事業推進室室長大石峰士一行於二月十五日來台，與台南市政府討論綠電投資和智慧電網架構，台南市長黃偉哲也率秘書長方進呈、研考會主委趙卿惠、經發局蕭富仁代理局長接待，並允諾會協助海外公司投資台南，促進綠電發展。

東電海外事業推進室室長大石峰士表示，台南是台灣日照時數最長的區域，也了解到台灣政府發展5+2產業的決心，再加上太陽光電的上中下游產業鏈發展完整，因此選擇台南做為海外發展的第一站，未來希望與台南市府合作，將沙崙的成功模式擴展到世界其他區域。

台南市長黃偉哲提到，儲能、創能與節能技術都是發展綠電產業的重點，今年一月Google向台南購買綠電，足以證明綠電有相當大的市場潛力，台南市政府也會全力配合中央發展綠電的政策方針，積極協助海外公司投資台南，促成本土綠電產業發展。

台南市政府指出，這次的綠電投資案正如



台南市長黃偉哲與東電海外事業推進室室長大石峰士合影(台南市府提供)



眾人合影(台南市府提供)

愛媛台灣親善交流會成立

擴大與台交流



「愛媛縣日台親善協會」與「愛媛台灣交流會」於二月十二日合併成立「愛媛台灣親善交流會」

【愛媛／綜合報導】近年來台日關係友好密切，日本各地紛紛成立日華親善協會或台灣交流會等，透過組織的方式與台灣交流，其中「愛媛縣日台親善協會」與「愛媛台灣交流會」於二月十二日合併成立「愛媛台灣親善交流會」，並由古川勝三接任新會長。

駐大阪辦事處處長李世丙也受邀出席見證，他表示，去年是天災不斷的一年，以為台灣來日的觀光客會減少，但仍締造了650萬人次的新高，日本到台灣修學旅行的高中也不斷的增加到，另外在七月十八日愛媛縣的松山機場與桃園機場直航，相信今後的台日關係會更頻繁。

愛媛縣的友台人士為感謝先總統蔣公恩澤，於1986年元旦由醫師松浦八郎號召縣內各界人士組成四國地區第一個日華親善協會，並擔任首屆會長，1900年擴大組織後由藏原一郎就任會長，松浦八郎則擔任名譽會長。

日華親善協會成立以來致力推動台日民間交流不遺餘力，例如每年定期的總會都會邀請駐大阪辦事處參加，每當愛媛縣政府主辦的愛媛國際祭活動時，協會也主動推展台灣觀光宣傳、921大地震時也總動員募捐54餘萬日圓賑災、近年均組團訪台參加國慶活動、並熱誠接待台灣



藏原一郎會長(是灣生，台北出生)他接任會近30年不遺餘力的促進愛媛縣台日友好關係並就近照顧台灣來的留學生們

大阪辦事處處長李世丙受邀出席見證



IT橫濱實習生成果發表 日商企業讚賞有加



2019年國際企業人才育成センター横濱研修報告会
主催：台湾貿易センター、公益財団法人 横濱企業経営支援財団

【橫濱／採訪報導】外貿協會國際企業人才培訓中心（ITI）日本組於上個月赴日展開研習活動，經過三週的實習，橫濱地區的實習生於二月二十一日橫濱東急飯店舉行成果發表會和答謝會，橫濱企業經營支援財團理事長牧野孝一也全程參加，聆聽學生的報告，對於學生的表現也讚賞有加。

今年橫濱地區共有二十位學生，分別到十八間企業實習，包含崎陽軒、大江電機、神奈川臨海鐵道、關東院大學等各式各樣的企業，由於過去台灣實習生的優秀表現，讓他們留下很好的印象，願意持續接受台灣實習生，不少企業都與協合作五、六次以上，而今年的實習生表現，也跟過去一樣獲得企業們肯定。

其中在株式會社協進印刷實習的楊仁甫在上司的提議下自己獨立出版一份中文宣傳報，從內容的決定、採訪、撰稿、設計都由他一人完成，他提到，其實印刷業的工作還有設計、企劃、寫文章，楊仁甫因為喜歡寫文章，才決定接下這個課題。

但這是他第一次來到日本職場工作，也是第一次訪問日本人，跟過去在學校學的日文相比，日本人講話速度更快，採訪時只聽得懂6、70%，只能錄音錄下來，晚上回到家反覆的聽，才完成這份稿並翻譯成中文，另外為了讓排版醒目，標提的決定也花費他不少時間，但他希望就是要透過這份宣傳報，介紹給台灣的人，如果能進一步為他們帶來幫助的話，對他來說是很幸運的事。

國際企業人才育成中心主任張揚鴻表示，看完這次的發表會，深刻覺得日語組的研習生一年比一年厲害，也很感謝橫濱企業對他們的照顧，今天的表現除了語言發音、內容外，最重要是他們已經了解日本文化的深處，像是有學生提到任何的想法都能變成創意，再小的錯誤也都不允許發生，也有學生在工作上的心態也有所轉變，從自己要做什麼變成為別人做什麼，對學生來講都是必要的經驗。

張揚鴻也提到，學生畢業後都能成為台日貿易很好的橋樑，不僅在台灣工作外，不少人都會到外商公司，而前輩引領後輩，再加上日本三處駐外單位，以及合作的企業和單位，讓ITI就像一個團隊一樣，構成很強的戰鬥團，對將來在拓展雙邊貿易很有幫助，甚至是讓日本企業與其他國家連結，增加日本對外擴張。

台灣貿易中心東京事務所主任吳俊澤表示，看完學生發表很感動，實協的培訓事業非常有意義，特別是人才是百年大計，實協能在三十一年前就開始做這樣培訓，讓學生更加國際化，雖然會遭遇到很多挑戰，但對人生成長非常有幫助。

吳俊澤也勉勵學生，要活用自己在學校或是企業研習時學到的東西，不論將來在公司工作或是自己創業，將這段經歷當作很好的資產，會讓自己有更好的發揮。從日語組在橫濱不斷受到日商企業的好評，他也希望能做更多台日的人才交流，讓企業與人才有更好的往來。

東京鐵塔台灣祭 美食溫暖民眾胃



今年東京鐵塔台灣祭新增表演活動

【東京／採訪報導】東京鐵塔台灣祭執行委員會於二月九日至二月十一日止一連三天，在東京鐵塔舉辦的台灣祭活動，除了台灣美食之外，今年還特別新增表演節目，包括藝人鄭家純（ili）、歌手舒米恩、Pi A、偶像團體noovy、AKB48阿部瑪莉亞等，接連上場炒熱現場氣氛。

今年的東京鐵塔台灣祭剛好遇上農曆新年，主辦單位特別在會場掛上天燈，添增不少喜氣，而活動期間也遇到日本遭受寒流侵襲，活動第一天還下雪，但仍不減民眾的熱情，主辦單位還貼心準備白酒，讓在寒風排隊入場的民眾能溫暖身子，而除了高人氣的小籠包、牛肉麵外，麻油雞、擔仔麵也都因為天氣冷生意大好。

除了東京鐵塔台灣祭執行委員會執行長片岡健一表示，雖然剛好這次的台灣祭遇上農曆新年，但是第一次在冬天舉辦，深怕客人很少，因此特別安排表演節目，請到許多藝人、偶像歌手等，希望能吸引更多前人來，所幸開幕第一天即便下雪還是很多人排隊，可見東京鐵塔台灣祭已經是指標活動之一。

表演節目中，藝人鄭家純第一次擔任台灣

祭的主持，並與AKB48的阿部瑪莉亞和藝人廣田愛佳搭檔，讓舞台前瞬間被觀眾瞬間擠爆，鄭家純表示，她覺得能在外國遊客很多的東京鐵塔下舉辦飲食、文化、語言交流的台灣祭非常好，讓大家更認識台灣，說不定吃到不同的台灣料理後，也會更想去台灣。

近年來鄭家純也將演藝重心移至日本，不僅去日本語言學校學日文，還組成日本的旅行團、擔任日本語教室的助教，也接了一些地方觀光業的業配案，她也提到今年開始也在東京租了房子，希望能多增加一些演藝活動。而雖然她謙虛說自己的日文還行，但在台上與來賓或觀眾互動都答問如流，已經吸引到不少日本粉絲。

由於東京鐵塔台灣祭的成功，日本也有很多地方希望能舉辦，執行長片岡健一表示，最近橫濱知名的紅磚倉庫有來詢問，希望能在四月份時也在那舉辦一場台灣祭，但實際的活動內容要等到目前的台灣祭先忙才能決定，而今年夏天也有打算在東京鐵塔舉辦第二次的台灣祭，不過舉辦的詳細規劃和時間都還需要討論，也會繼續努力將台灣介紹給日本的民眾們。

鄭家純第一次擔任台灣祭的主持，不論是日文與來賓或觀眾互動都答問如流

世界蘭展日本大賞 台灣蘭百花齊放

【東京／採訪報導】世界蘭展日本大賞於二月十五日至二十二日在東京巨蛋登場，今年台灣蘭花產銷發展協會帶領華蘭園、展狀台大蘭園、億晟、可金鞋蘭場等五家業者參展，同時也宣傳三月將在台中舉行的世界蘭花會議，駐日副代表郭仲熙也專程出席欣賞美麗的蘭花，直呼蘭花瀑布是台灣之光。

台灣蘭花產銷發展協會前理事長高紀清表示，日本開發培養的花多屬於偏粉紅色的，台灣開發的色彩相較之下比較鮮豔，但隨著時代變化，愈來愈多的年輕人會比較喜歡強烈、熱情一點的顏色，此時台灣的品種就比較占有優勢。而這次也有將台灣從世界各國引進的蘭花，帶來日本參展。

高紀清也提到，台灣出口到日本的還是以蝴蝶蘭的盆花為最大宗，第二則是文心蘭的切花，不過這幾年蝴蝶蘭的切花出口到日本也慢慢成長，評估未來幾年，蝴蝶蘭的切花也會稍再成長。但隨著日本的高齡化和少子化，盆花的市場是慢慢的有點萎縮，約平



台灣蘭花產銷發展協會同時也宣傳三月將在台中舉行的世界蘭花會議

均百分之一至三的出口萎縮，不過其他的花，像是切花都有在成長，主因是切花在日本面臨高齡化，戰後嬰兒潮慢慢走入人生的尾聲，葬儀時都會需要，這方面的消費未來十年算是個黃金期，到一個高峰。

副代表郭仲熙表示，展覽中台灣的蘭花瀑布可以說是台灣之光，也是日台友好交流的象徵，我們都必須要珍惜。看到這麼美的景觀，郭副代表有感而發吟詩作對，以「行到水窮處，坐看花開時，來時雪如花，去時花似雪。」做為這次看展的心得，他也提到，台灣每年都來世界蘭展日本大賞參展，是業者努力的結果，對於參展業者表示由衷敬佩，也希望透過蘭展使台日交流更加密切。

東京之星銀行國際週 體驗農曆新年文化



【東京／採訪報導】東京之星銀行於二月十三日至十九日舉辦國際週活動，二月十五日時，依照總行中國信託決定的主題「元宵節」，安排東京之星的員工製作燈籠、寫春聯，體驗農曆新年的氣氛，也希望員工藉由國際週認識他國文化，不僅讓各國的分行能互相了解，對日後與客人互動也有所幫助。

東京之星銀行廣報部藤田麻美表示，東京之星的總行中國信託在世界各地都有據點，進而決定舉辦國際週，讓所有人都能體驗各個國家的文化，也因為各國商業習慣會因為文化所差異，因此希望能藉此讓各國分行能互相連結、了解彼此，對做生意上也會有幫助。

活動中員工們也發揮巧思，除了製作響應豬年的豬燈籠外，也有精心製作不少各式各樣創意燈籠，像是卡通人物小兵的燈籠，還有員工在燈籠寫上大甲鎮瀾宮，另外春聯的部分除了常見的中式春聯外，也有員工用日文來寫春聯，營造出日本風的過年氣氛。

員工柴田哲郎不只挑戰用中文寫春聯，也從「福照家門萬事興 喜居實地千年旺」中，與日文漢字相似的中文推敲出對句的意思，他表示，因為自己家住橫濱，離中華街很近，一直對這些文化很有興趣。

藤田麻美也提到，這是東京之星銀行第一次舉辦，之後會固定每兩個月舉辦一次，活動的主題也會由世界各分行決定，中信的東京分行預定於四月設計櫻花相關的活動主題，而東京之星銀行則是於明年四月設計以2020東京奧運為主題的相關活動。

ARTWAVEX台灣當代表演藝術 雙策展前進橫濱表演藝術大會

【橫濱／綜合報導】國家文化藝術基金會（國藝會）所創設的「ARTWAVEX—台灣國際藝術網絡平台」於二月十二日至十五日，在董事長林曼麗的率領下，參與亞洲當代最具代表性的「日本橫濱表演藝術大會」（PERFORMING ARTS MEETING IN YOKOHAMA，以下簡稱TPAM），透過台灣茶會、講座、工作坊等活動與會的國際人士、日本觀眾都能深刻體驗到台灣表演藝術一波接一波的創作力。

ARTWAVEX關注台灣當代藝術的即時狀態，持續推廣台灣藝術家及作品的國際連結與發展，主動出擊與各國藝文中介組織、具指標性之藝術節、國際展會建立合作關係，也尋求倡議與探討共同關注的議題，促成創作者與專業工作者之交流合作，期望逐步成為國際藝文社群認識台灣當代藝術的重要介面。在此定位之上，長期聚焦在跨域實驗、文化對話的「日本橫濱表演藝術大會」（TPAM），便成為ARTWAVEX在表演藝術上的重點連結目標。

首次以雙策展的方式，與台灣策展人姚立群、長期旅居紐約的日本籍策展人恩田晃攜手合作，策劃來自劇場、舞臺、舞蹈劇場、藝術家林其蔚、王虹凱等共計4件展演作品。在經過前期與TPAM總監丸岡廣美的會晤討論，並邀請恩田晃於2018年來台進行研究調查後，ARTWAVEX首次挑牌跨國合作的雙策展，藉以展現ARTWAVEX促進台灣與國際專業人士深度交流與合作的企圖心，也期待透過不同的策展視角，論述出台灣、青世代在表演藝術領域所開發出的多元樣貌。

姚立群的策畫以「島嶼熱望」（Spectrums，複數的連續體）為名，呈現兩位台灣青年世代的女性藝術家作品，分別為劇場鄭尹真的《懶懶停針》與環鞋子舞蹈劇場林宜瑾的《虹》。《懶懶停針》為鄭尹真引用南管「序、破、急」的曲式結構所發展出一場南管與聲音藝術的即興互動；林宜瑾的舞作《虹Khinng》的靈感來源為台灣草根儀式「牽亡歌陣」，以其音樂特性和帶動的體感，轉化出獨特「重覆」與「行動」的舞蹈概念。

姚立群認為，此刻在台灣，青壯輩的藝術家置身全球化時代的文化地景中，渴望深入認識

在地的文化底蘊，他們積極考掘表演藝術的歷史脈絡，藉以發展新的表演藝術語彙，正如在鄭尹真與林宜瑾的作品中所顯現的，藝術家能夠擔任數百甚至千年前隱喻的「轉譯者」，挑戰融合、認同與跨越的困難，並在劇場之內「挪移」觀眾／聽者置身於創意的時空。

目前旅居紐約的藝術家暨策展人恩田晃，今年受TPAM邀請擔任聲音類Direction策展人，針對ARTWAVEX的策展規劃，透過兩度來台進行田調的經驗，恩田晃觀察到台灣在90年代建構出蓬勃且具有實驗性藝術場域，並認為如此的躍昇與發展，與台灣歷史及在地習俗有著複雜的聯繫。

以「喚回音聲」（Recalling Voices / 声を呼び覚ます）為主題，恩田晃邀請的兩位藝術家林其蔚與王虹凱，在對歷史、民俗文化的興趣與參與式創作的模式上有著驚人的相似，並且均熱衷於探討群體動力與連結性在聲音詩與即興當中的角色，而其選定於其策展中發表的分別是林其蔚的《磁帶音樂》與王虹凱的《南與之耳》，以藝術家各自的獨特操作，透過現場集體參與的演出形式，在探討聲音無限可能的同時，也喚起過往的集體記憶。

策展演出之外，ARTWAVEX也將策辦一場台灣茶會，廣邀參與這次活動的台灣場館、表演團隊及國際專業人士參與，希望藉由茶會中的交流互動，產生更多連結的可能性；同時圍繞著本次策展的主題，也於二月十二日及十四日舉辦專題講座與藝術家工作坊等，期望能提供國際人士瞭解台灣當代表演藝術發展的近身體驗。



現場吸引各國人士出席共襄盛舉

▼「台灣-玉山與高雄車站」大冰雕



玉山、高雄車站登上札幌雪祭 日夜風格大不同



自隊特別打造芬蘭赫爾辛基大教堂1/3版的雪像

【札幌／採訪報導】北海道札幌雪祭於二月四日在大通公園登場，每年由朝日新聞社製作的台灣建築物冰雕都是注目焦點之一，今年以「台灣-玉山與高雄車站」為題，特別的是冰雕在白天是如碧玉般的淡藍色，夜晚則透過彩色的燈光營造出夢幻的氣氛。

這次「台灣-玉山與高雄車站」冰雕用800支冰雕製成，每支冰雕重達135公斤，而整體高10公尺、縱深16公尺、寬18公尺，打造出標高3952公尺和1940年所興建的高雄車站，除了介紹到2014年玉山與富士山締結友好山

外，也特別提到2002年高雄車站的遷移，讓日本民眾能更進一步認識台灣。

駐日副代表郭仲熙專程出席主持開幕典禮，他表示適逢農曆新年與雪祭的登場，可以說是雙喜臨門，也希望透過這座大冰雕的魅力，引起更多日本民眾的興趣，進而到台灣進行深度體驗，並且更加了解台灣，讓台日雙方的友好關係更上一層樓。

札幌市長秋元克廣在致詞時表示，很感謝這次的雪祭有那麼漂亮的「台灣-玉山與高雄車站」大冰雕，這座大冰雕白天和晚上的樣貌都不一樣，有不同的美感，盼遊客能盡情遊賞。而現在有這麼多台灣觀光客到札幌旅遊，希望前來欣賞冰雕的遊客有機會能造訪台灣，了解台灣的好。

這次的大冰雕帶是由冰雕雕刻會會長古屋光行領團隊打造，他提到，這次的作品最難的部份，是要如何讓美麗的玉山與高雄車站富有平衡感的美，而這個作品也是本屆札幌雪祭中唯一的大冰雕，欣賞的重點是冰雕的透明感，以及冰雕配合燈光後，呈現出晶瑩剔透的色彩。



JR貨物打造出載滿蔬菜的火車冰雕



台灣建築物冰雕大受歡迎，吸引民眾爭相拍照



初音未來和戶山香澄的冰像



最近日本的話題人物大坂直美



高人氣的小小也被製作成冰雪像

丹頂鶴 牽起台灣與釧路友情



園區內有專人餵食丹頂鶴

【釧路／採訪報導】北海道釧路市的丹頂鶴不僅揚名國際，也是牽起台灣和釧路交流的信物之一，駐日副代表郭仲熙也趁參訪札幌雪祭之際，也在札幌辦事處長周學佑的陪同下，率團訪問釧路市政府和丹頂鶴的故鄉鶴居村。

丹頂鶴，別名仙鶴、日本鶴、白鶴等，是鶴類中的一種，因為頭頂的部份有紅肉冠而得名，是東亞地區特有的鳥種，也因為體態優雅、顏色分明，讓丹頂鶴有吉祥、忠貞、

長壽的寓意。2011年是中華民國紀念建國100年時，釧路市特別贈送BIG、KIKIKA兩隻丹頂鶴給台北市立動物園。

釧路市與台灣關係親密，釧路市議會是第一個成立日台友好促進議員聯盟的市議會。而訪團一行原訂二月四日下午搭機前往釧路，但因風速過大停飛，改搭乘特急列車，從千歲市約花了四小時才於晚間十點抵達釧路車站，原訂的歡迎晚宴也因此取消，但釧路市長蝦名大也即便隔天一早還要搭機出

國，還是專程到車站迎接，讓在寒冷中的郭仲熙一行感到很溫馨，也突顯出釧路市與台灣堅定的友誼。

隨後二月五日郭仲熙一行到釧路市政府拜會副市長岩隈敏彥、議長草島守之，郭副代表特別吟誦「編織台日羈絆(紐帶)的丹頂鶴」的俳句，形容台日因丹頂鶴關係更為緊密。他說，尤其是2011年時，他也曾參與釧路市贈送一對丹頂鶴到台灣的儀式，這一對丹頂鶴在台北市立動物園備受歡迎。

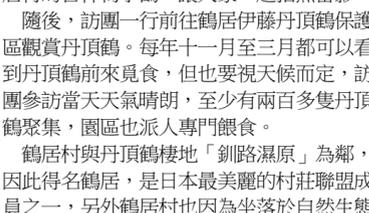
拜訪完釧路市政府後，訪團一行前往鶴居村公所，受到鶴居村村長大石正行率多名職員的熱情歡迎。為了順應農曆大年初一，大石村長特別用中文講了一句「大家新年快樂」。他表示，丹頂鶴在釧路市約有一千多隻丹頂鶴，其中有半數集中在鶴居村，外籍遊客當中，台灣、歐洲遊客多。

大石村長提到，鶴居村與台灣一直都有致力於推動自行車國際交流，像是中華民國自行車騎士協會與日本摩周湖觀光協會、NPO法人鶴居村觀光協會簽署了有關推動觀光合作的協定。他也特別把這兩份協定擺設桌

前，並製作「熱烈歡迎台北駐日經濟文化代表處」及台日兩國國旗的桌墊，以及請出鶴居村的吉祥物小鶴，讓大家一起拍照留影。

隨後，訪團一行前往鶴居伊藤丹頂鶴保護區觀賞丹頂鶴。每年十一月至三月都可以看到丹頂鶴前來覓食，但也要視天候而定，訪團參訪當天天氣晴朗，至少有兩百多隻丹頂鶴聚集，園區也派人專門餵食。

鶴居村與丹頂鶴棲地「釧路濕原」為鄰，因此得名鶴居，是日本最美麗的村莊聯盟成員之一，另外鶴居村也因為坐落於自然生態



郭副代表和大石村長與吉祥物小鶴合影

保護區，所產的牛乳量是日本數一數二，進一步成就獲得無數大獎的「鶴居天然起司」，也提供酪農體驗讓民眾嘗鮮。

前往釧路市交通方式：

- 台灣無直達釧路班機
 - 1. 從台灣搭機至北海道千歲機場 → 轉機至釧路機場 → 搭乘JR超級大空號(スーパーおおぞら)
 - 2. 從台灣搭機至東京/大阪 → 轉機至釧路機場
- 前往鶴居村交通方式
在釧路車站前搭乘阿寒巴士前往「グリーンパーク鶴居」(約1小時)



牽起台灣與釧路友情的丹頂鶴